

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

＜第28週＞マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向
＜6月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-15

＜流行性耳下腺炎＞2006年では第28週までの累積報告数が、2005年の同時期を大きく上回っている
＜腸管出血性大腸菌感染症＞第28週の報告数は122例で、第28週までの累積報告数は1,144例である



病原体情報
P.16-20

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年／ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2006年／インフルエンザウイルス 2005/06シーズン



速報
P.21-22

麻しんの地域流行－千葉市



海外感染症情報
P.23-24

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況／2006年、トルコでクリミア・コンゴ出血熱患者数の増加



感染症の話
P.25

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(28週)
P.26-32



グラフ総覧(6月)
P.33-37



6月のデータ
P.38-41



28週のデータ
P.42-53



発生動向総覧

※2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

<第28週コメント> 7月20日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 細菌性赤痢 5例〔感染地域:愛知県1例、中国1例、スリランカ1例、インド/ネパール1例、疑似症1例〕

腸チフス 2例(感染地域:ともにインドネシア)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 122例(有症者98例、うちHUS 6例、死亡1例)

感染地域:すべて国内

国内の多い感染地:群馬県(19例)、大阪府(9例)、兵庫県(9例)、福岡県(8例)、青森県(7例)

年齢群:10歳未満(58例)、10代(13例)、20代(23例)、30代(9例)、40代(4例)、50代(9例)、60代(4例)、70歳以上(2例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(61例)、O26 VT1(28例)、O157 VT2(22例)、O157 VT1(4例)、O121 VT2(3例)、O111 VT1(2例)、その他/不明(2例)

4類感染症: E型肝炎 2例

〔感染地域:北海道1例(感染源:猪肉/鹿肉)、千葉県1例(感染源:不明)〕

A型肝炎 2例〔感染地域:千葉県1例、国内(都道府県不明)1例〕

つつが虫病 4例(感染地域:青森県2例、長野県2例)

デング熱 2例(感染地域:インドネシア1例、マレーシア1例)

マラリア 2例(ともに三日熱_感染地域:ともにパプアニューギニア)

レジオネラ症 7例(すべて肺炎型)

年齢群:50代3例、60代2例、70代2例

感染地域:栃木県1例、岐阜県1例、京都府1例、島根県1例、広島県1例、山口県1例、福岡県1例

5類感染症: アメーバ赤痢 11例(腸管10例、腸管外1例)

感染地域:国内8例、タイ2例、ペルー1例

感染経路:経口3例、性的接触2例(ともに異性間)、不明6例

ウイルス性肝炎 4例〔すべてB型_感染経路:性的接触3例(異性間2例*、同性間1例)、不明1例〕*うち1例はアメーバ赤痢と重感染

急性脳炎 3例〔A型インフルエンザウイルス2例(3歳、5歳、うち1例死亡)、病原体不明1例(2歳)〕

クロイツフェルト・ヤコブ病 2例〔ともに孤発性プリオン病(古典型)〕

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(A群、20代)

後天性免疫不全症候群 10例(無症候5例、AIDS 3例、その他2例)

感染経路:性的接触9例(同性間7例、異性間/同性間1例、不明1例)、輸血・血液製剤1例(感染地域は国外)

感染地域:国内8例、セネガル1例、韓国1例

梅毒 6例(早期顕症I期2例、早期顕症II期2例、無症候2例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例

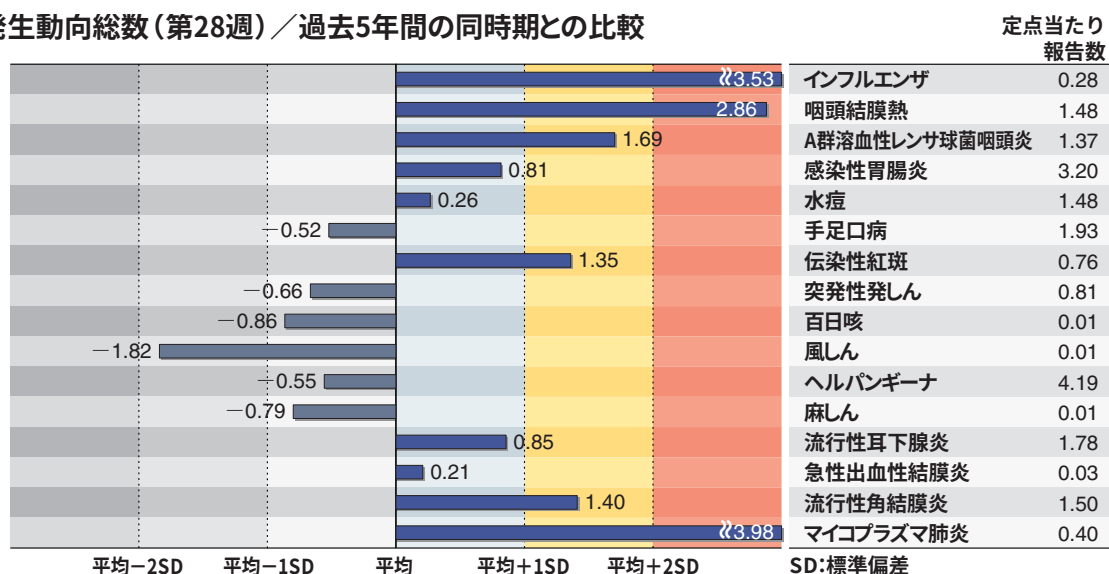
〔遺伝子型:VanB 1例(菌検出検体:便)、遺伝子型:不明1例(菌検出検体:胆汁)〕

(補)他に梅毒1例の報告があったが、削除予定。また報告遅れとして、コレラ1例(疑似症)、腸管出血性大腸菌感染症35例(うち16例は感染地域が山口県であり、飲食店関連の集団発生)、E型肝炎2例〔感染地域:ともに北海道(感染源:ホルモン1例、不明1例)〕、急性脳炎2例(ともに病原体不明、10代1例、40代1例)、クロイツフェルト・ヤコブ病1例〔遺伝性プリオン病(家族性)〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第28週)／過去5年間の同時期との比較



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

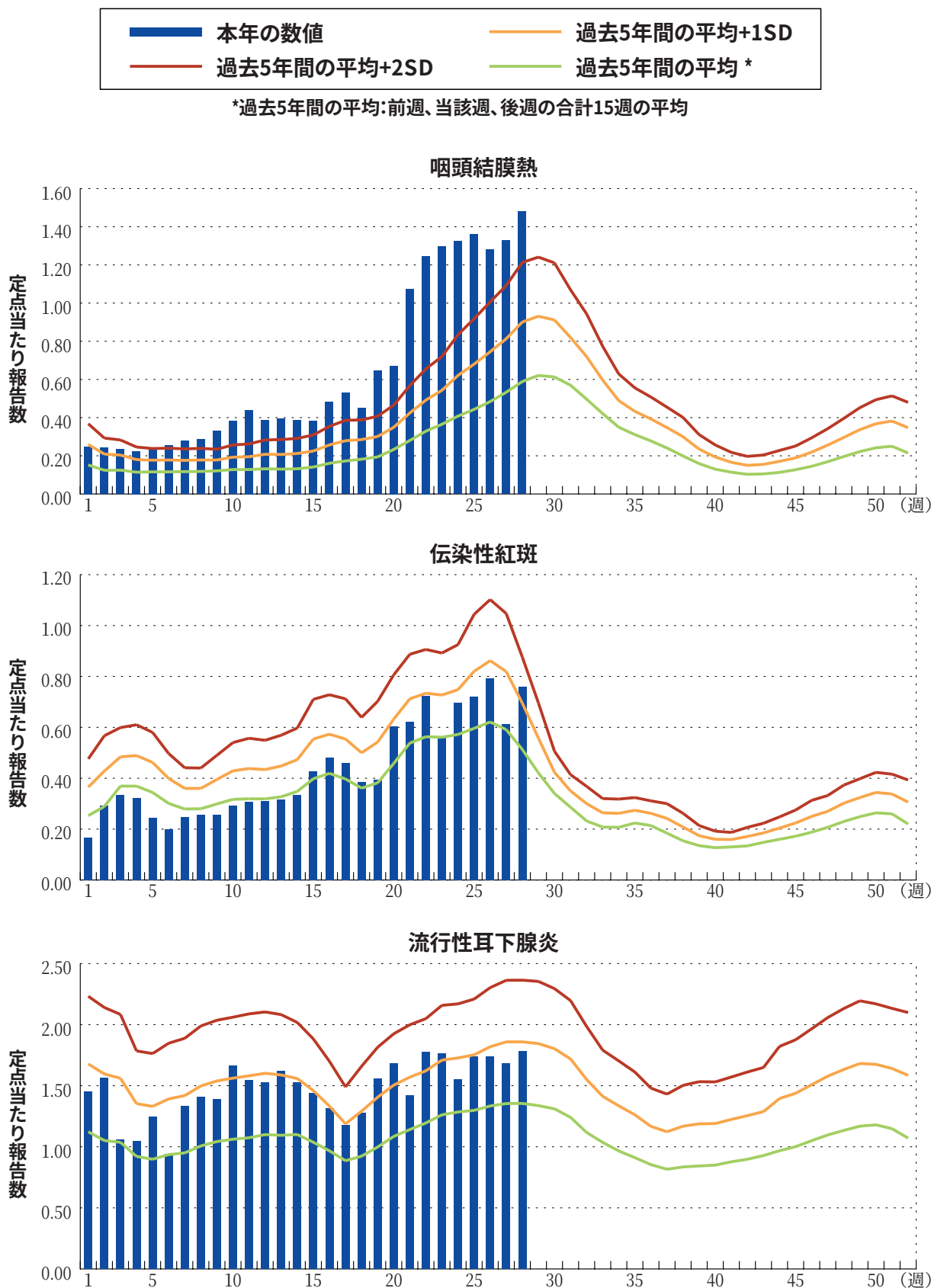
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第22週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県(9.43)、青森県(2.43)、長崎県(0.90)、岩手県(0.68)が多い。

小児科定点報告疾患: **RSウイルス感染症**は51例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の73%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は2週連続して増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では奈良県(2.6)、佐賀県(2.5)、長野県(2.4)、宮崎県(2.4)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は第25週以降、減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では秋田県(2.3)、北海道(2.3)、三重県(2.2)、福島県(2.0)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は第21週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県(7.5)、大分県(7.4)、熊本県(6.1)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は第25週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県(2.7)、長野県(2.4)、北海道(2.3)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は第19週以降、増加が続いている。都道府県別では福井県(16.9)、岐阜県(7.5)、愛知県(6.3)、静岡県(5.6)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県(1.5)、宮城県(1.5)、埼玉県(1.4)、山形県(1.4)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県(0.06)、香川県(0.06)、福井県(0.05)が多い。**風しん**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県(0.06)、徳島県(0.05)、茨城県(0.03)、富山県(0.03)が多い。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では和歌山県(11.1)、宮城県(10.9)、愛媛県(6.9)が多い。**麻しん**の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では千葉県(0.05)、青森県(0.05)、鳥取県(0.05)、広島県(0.04)が多い。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(4.3)、鹿児島県(4.2)、徳島県(3.5)、長野県(3.4)が多い。

基幹定点報告疾患: **マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では群馬県(2.1)、愛媛県(1.7)、石川県(1.4)、青森県(1.3)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1～28週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



〈6月コメント〉

◆性感染症について(7月12日集計分) 性感染症定点数: 950

2006年6月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.05(男1.37、女1.69)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.91(男0.37、女0.54)、尖圭コンジローマが0.63(男0.34、女0.29)、淋菌感染症が1.12(男0.93、女0.19)で、男女とも4疾患のうち、性器クラミジア感染症が最も多かった(図1)。前月に比べると、性器クラミジア感染症は男女ともに微増、性器ヘルペスウイルス感染症は男性で減少、女性で微減、尖圭コンジローマは男性で微減、女性で増加、淋菌感染症は男女ともに微減した(33～36ページグラフ総覧参照)。男女別に過去5年間の同時期と比較すると、平均+1標準偏差(SD)を超えた疾患は男女ともにみられなかった(図2)。一方、性器クラミジア感染症は男性で平均-1SD、女性で平均-2SD、淋菌感染症は男性で平均-2SD、女性で平均-1SDを下回った。

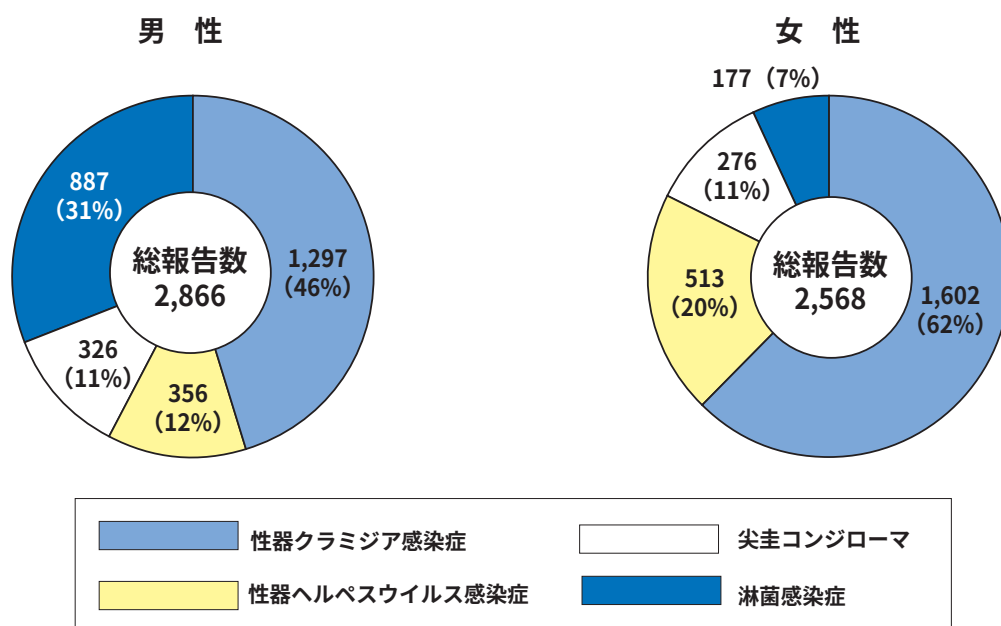
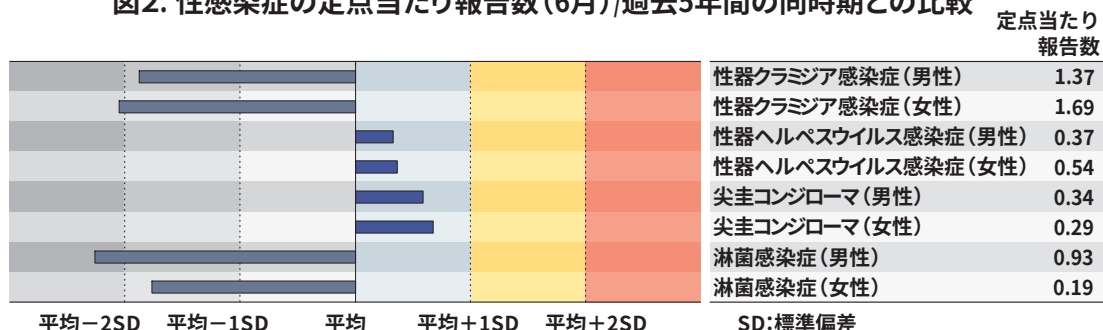


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(6月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(6月)/過去5年間の同時期との比較



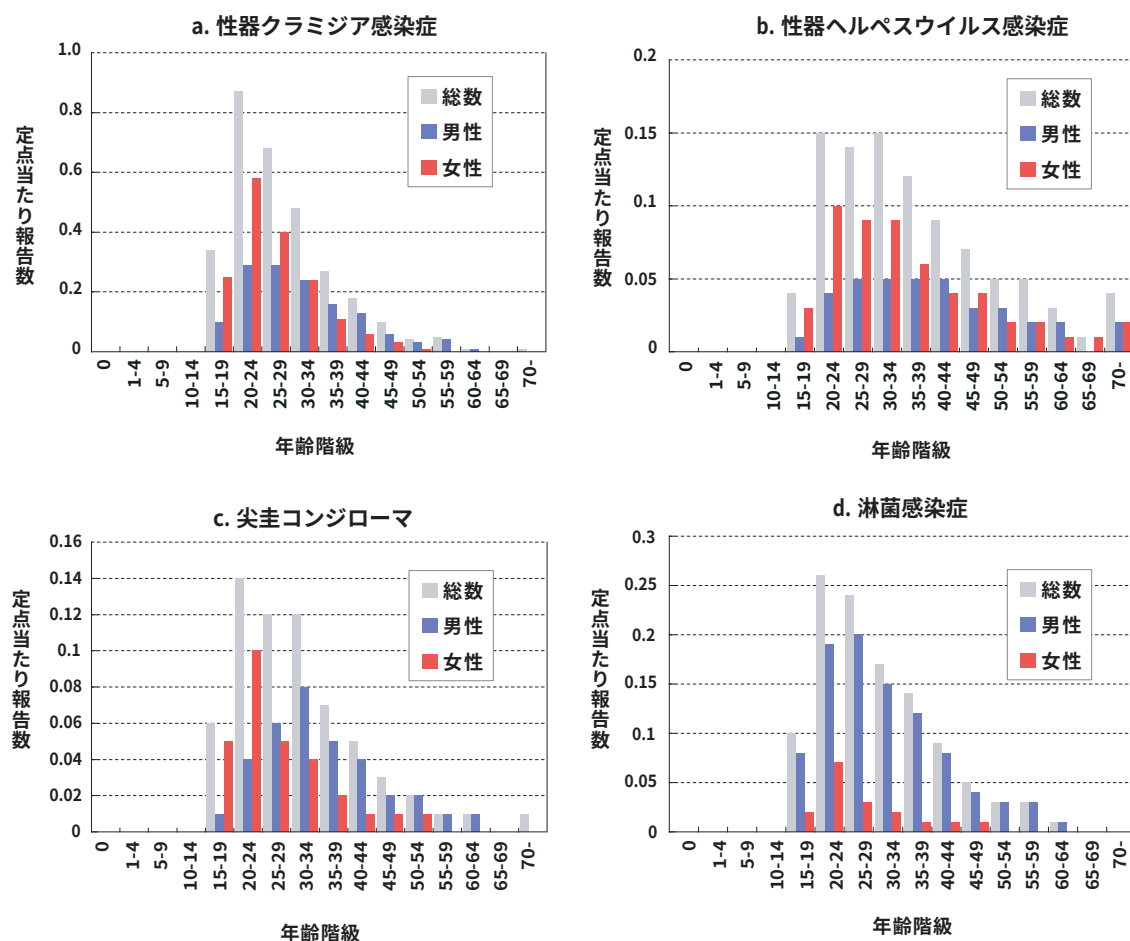
当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフ上に表現した。

定点当たり報告数を男女別・年齢階級別(5歳毎)に比較すると、4疾患すべてにおいて男女ともに15～19歳群から報告がみられ、そのピークは、性器クラミジア感染症の男女、性器ヘルペスウイルス感染症の女性、尖圭コンジローマの女性、淋菌感染症の男女で20代であり、性器ヘルペスウイルス感染症および尖圭コンジローマの男性で30代であった(図3)。性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では、男女ともにピーク以降、年齢が高くなるに従い減少傾向が認められ、50代以降の報告は僅かである。しかし性器ヘルペスウイルス感染症では、男女ともに50代以降の年齢群の報告も少なくない。また、淋菌感染症では全ての年齢群において男性の占める割合が高いが、性器クラミジア感染症の15～29歳、性器ヘルペスウイルス感染症の15～39歳、尖圭コンジローマの15～24歳の若い年齢群で、女性の占める割合が高い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)における各疾患の定点当たり報告数を男女別・月別に図4に示した。前月との比較では、男性では尖圭コンジローマは減少したが、他の3疾患は増加し、女性では性器ヘルペスウイルス感染症と淋菌感染症は横ばいであったが、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマは増加した。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要があります。詳細は「感染症週報IDWR」2000年第46週号(10月報)4ページの説明を参照してください。

図3. 性感染症の性別・年齢階級別分布(6月)



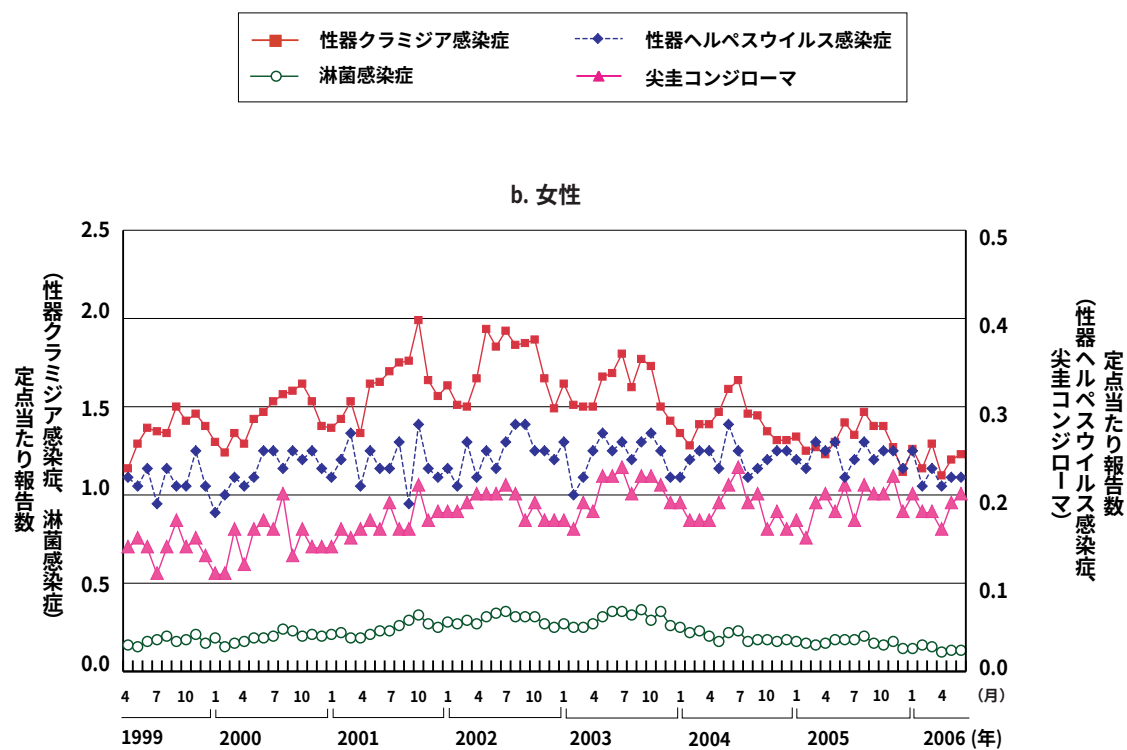
a. 男性

(性器クラミジア感染症 淋菌感染症)
定点当たり報告数

(性器ヘルペスウイルス感染症
尖圭コンジローマ)
定点当たり報告数

(月)

1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 (年)



◆薬剤耐性菌感染症について(7月12日集計分) 基幹定点数(6月): 460

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.32(前月: 4.36、前年同月: 3.97)

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。6月は前月よりわずかに減少し、過去7年間の同月との比較では最も多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.23(前月: 1.37、前年同月: 1.22)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移している。6月は前月より減少し、過去7年間の同月との比較では中位に属した。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.13(前月: 0.09、前年同月: 0.10)

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比してわずかに多い傾向がある。6月は前月と比べ増加し、過去7年間の同月との比較では上位に属した。

[年齢階級別]

MRSA感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の61%を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の67%を占める一方、65歳以上が全体の17%を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の70%を占めている(図3)。

[性別](女性を1として算出した男女比)

MRSA感染症…男: 女=1.6: 1

PRSP感染症…男: 女=1.3: 1

薬剤耐性緑膿菌感染症…男: 女=2.5: 1

[都道府県別]

MRSA感染症…定点当たり報告数は山口県(8.9)、新潟県(7.7)、静岡県(6.5)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は富山県(10)と千葉県(10)が突出して多く、この2県は過去3カ月も上位1、2位であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症…報告総数が60件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

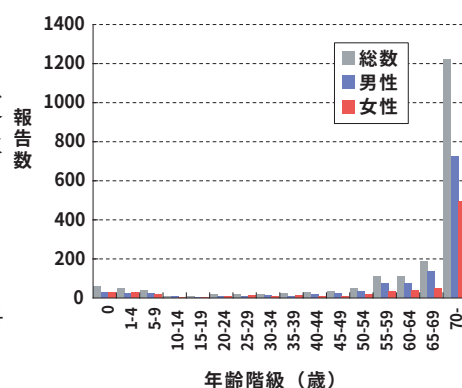


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

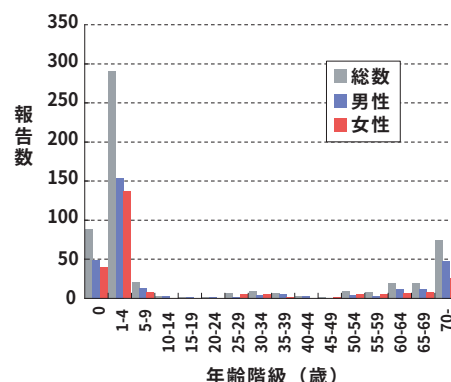
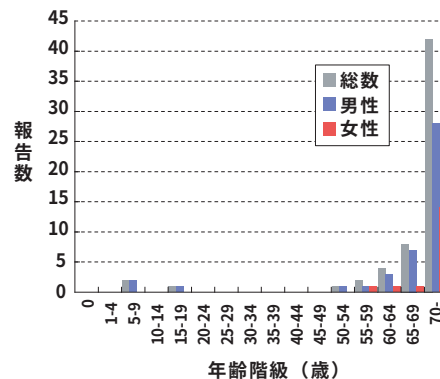


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



◆結核サーベイランス月報(7月24日集計分)

6月の新登録患者数は2,339人(男性1,489、女性850人)で、このうち活動性肺結核患者は1,849人(うち喀痰塗抹陽性者は884人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(288人)、大阪府(大阪市を除く)(155人)、大阪市(128人)、埼玉県(さいたま市を除く)(83人)、横浜市(78人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は232人であった。

*マル初者…結核の感染が強く疑われるが発病はしておらず、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

◆流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎(mumps:ムンプス)は、2～7歳の児を中心とした小児に好発する疾患である(図1)。2～3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て発症し、片側あるいは両側性の唾液腺(耳下腺が最も多い)の疼痛性腫脹を特徴とするウイルス感染症である。通常は1～2週間で軽快する予後良好の疾患であり、不顕性感染も3分の1程度に認められるが、発症者の中には無菌性髄膜炎をはじめ、髄膜脳炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎、膵炎などの種々の合併症を起こす場合がある。感染経路はヒト-ヒト間の飛沫感染、接触感染であり、特に免疫を有しない乳幼児が集団生活する保育所などではしばしば集団発生が認められている。また成人での発症例では、合併症によって入院する例が比較的多い。

感染症発生動向調査によると、2003年から2004年、2004年から2005年と2年連続して累積報告数の増加がみられている(図2)。また、2006年では第28週までの累積報告数が124,261例で、2005年の同時期(93,876例)を大きく上回っており、2002年以降では最多である(図3)。

2006年第28週の定点当たり報告数を都道府県別にみると、新潟県(4.3)、鹿児島県(4.2)、徳島県(3.5)、長野県(3.4)、北海道(3.0)が多いが、第28週までの定点当たり累積報告数では鹿児島県(112.9)、長野県(97.4)、沖縄県(94.1)、鳥取県(93.0)、山口県(72.8)の順となっている(図4)。

流行性耳下腺炎の発生動向については地域的流行を含め、今後とも十分な注意が必要である。



図1. 流行性耳下腺炎の報告症例の年別・年齢群別割合(1999～2005年)

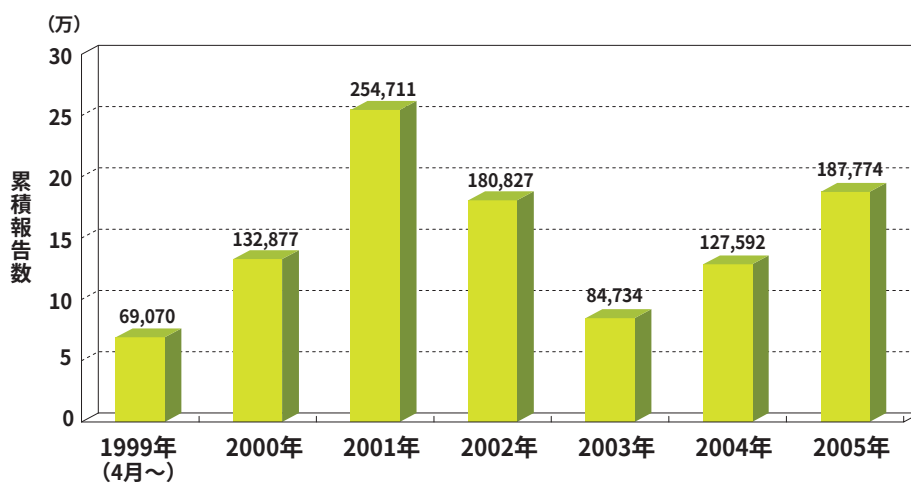


図2. 流行性耳下腺炎の年別発生状況

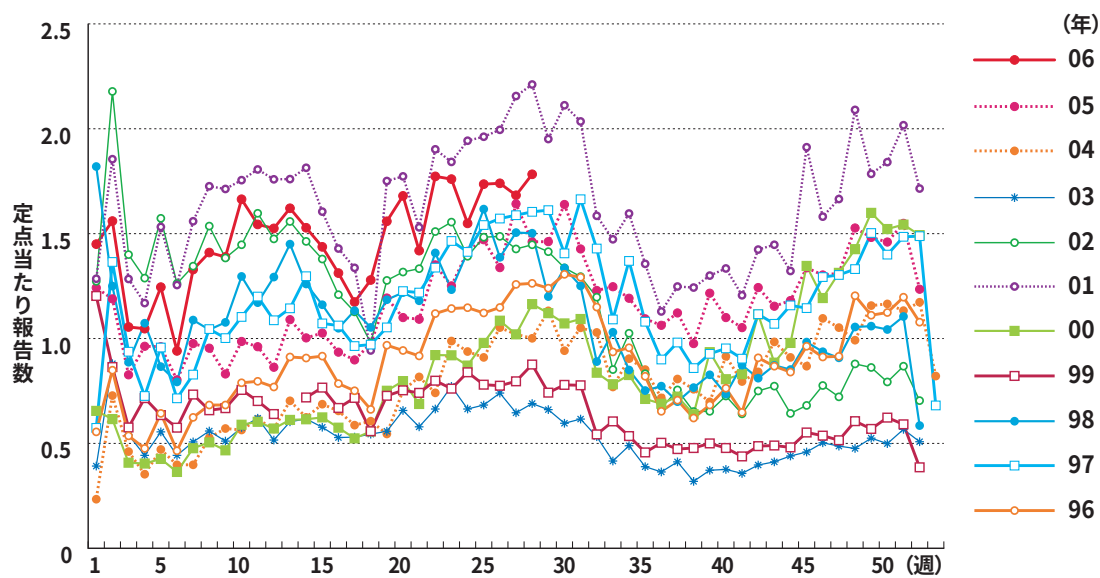


図3. 流行性耳下腺炎の年別・週別発生状況(1996～2006年第28週)

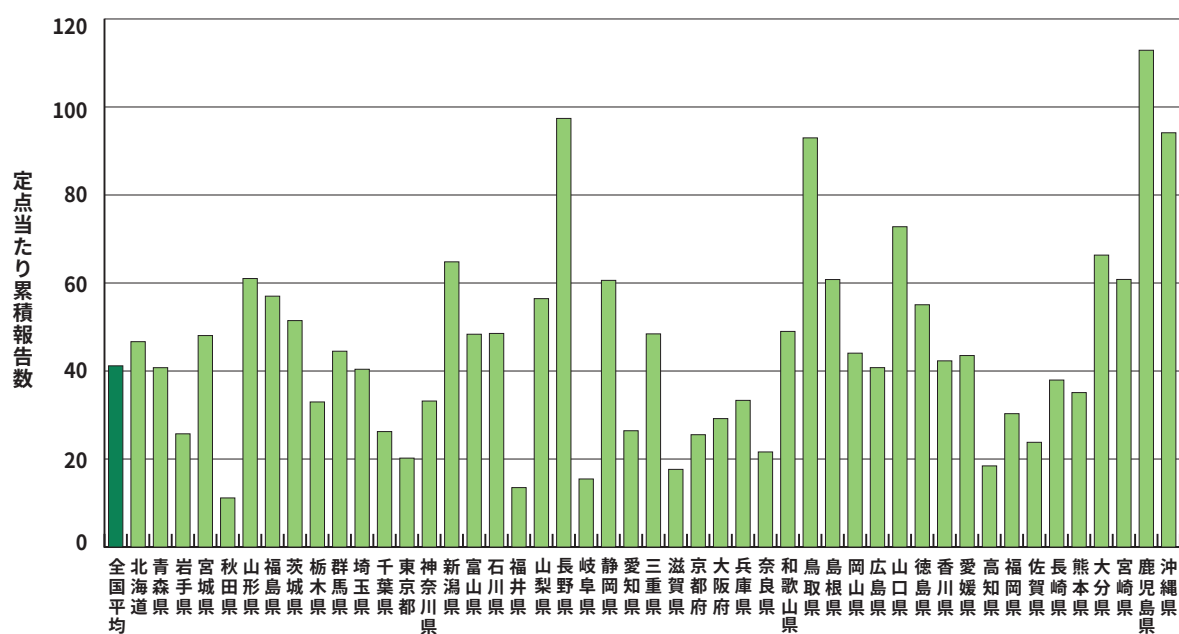


図4. 流行性耳下腺炎の都道府県別報告数(2006年第1～28週)

◆腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第15週(27例)から増加が認められ、第20週(59例)に50例を超え、21週以降は80例前後で推移していたが、第26週(134例)に100例を超えた。その後第27週は127例、第28週は122例であった。本年第28週までの累積報告数は1,144例であるが、今までのところ例年(2000年1,208例、2001年1,641例、2002年1,260例、2003年831例、2004年1,187例、2005年1,250例)と比べ、多いとは言えない(図1)。

第28週に診断された122例についてみると、報告の多かった都道府県は群馬県(19例)、兵庫県(11例)、大阪府(10例)、青森県(7例)、福岡県(7例)であった(図2a)。群馬県の19例のうち11例は、第27週に引き続き保育園関連の集団発生であり、青森県の7例は第27週の3例と合わせて、牧場における動物とのふれあい体験に関連した集団発生である。また、2006年4月から、国内を感染地域とする場合に、県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第28週に感染地域として多かった都道府県は、報告都道府県とほぼ同様で、群馬県(19例)、大阪府(9例)、兵庫県(9例)、福岡県(8例)、青森県(7例)であった(図2b)。性別では男性53例、女性69例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(58例)が最も多く、47.5%を占めた。また、有症状者は98例で、無症状病原体保有者が24例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。分離された菌の血清型・毒素型別では、O157 VT1・VT2(61例)、O26 VT1(28例)、O157 VT2(22例)の順に多かった。

第1～28週の累積報告数1,144例についてみると、報告の多かった都道府県は、大阪府(110例)、群馬県(80例)、東京都(72例)、愛知県(66例)、兵庫県(63例)である(図3)。性別では男性556例、女性588例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(466例)が最も多く、41%を占めている。性別・年齢群別にみると、0～9歳及び10～19歳は男性が女性より多く、それ以上の年齢群では女性が男性より多い。また、有症状者は771例(67%)で、無症状病原体保有者が373例である。性別・年齢群別に症状の有無をみると、30～50代では男女ともに無症状病原体保有者が多く、それ以外では有症状者が多い(図4)。分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2(432例)、O157 VT2(256例)、O26 VT1(249例)の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は報告遅れ分や追加報告を含み、第28週に8例報告があり、累積では33例となった。2006年4月からHUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のベロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。33例のうち9例は、血清抗体の検出により届け出られたものである。死亡については、2006年では第28週までに2例の報告があった。しかし、HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

2006年も既に保育施設での集団発生が散見されている他、飲食店や展示動物に関連した集団発生もみられている。今後、本症の発生はさらに増加するものと予想され、その発生動向には注意が必要である。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。そのため保育施設においては、特にオムツ交換時の手洗い、園児に対する食前の手洗い指導を徹底し、これからの季節は簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

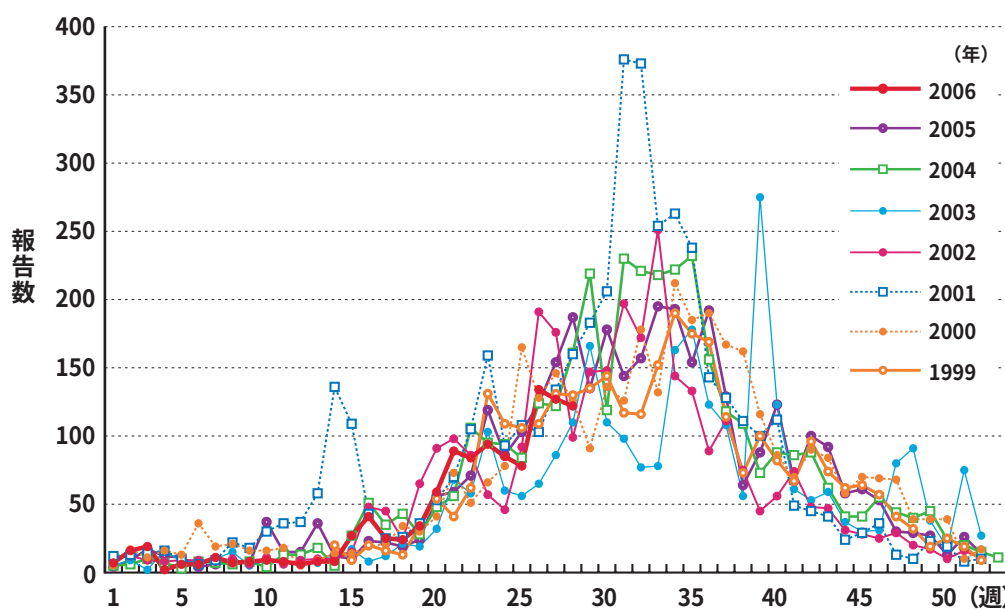


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

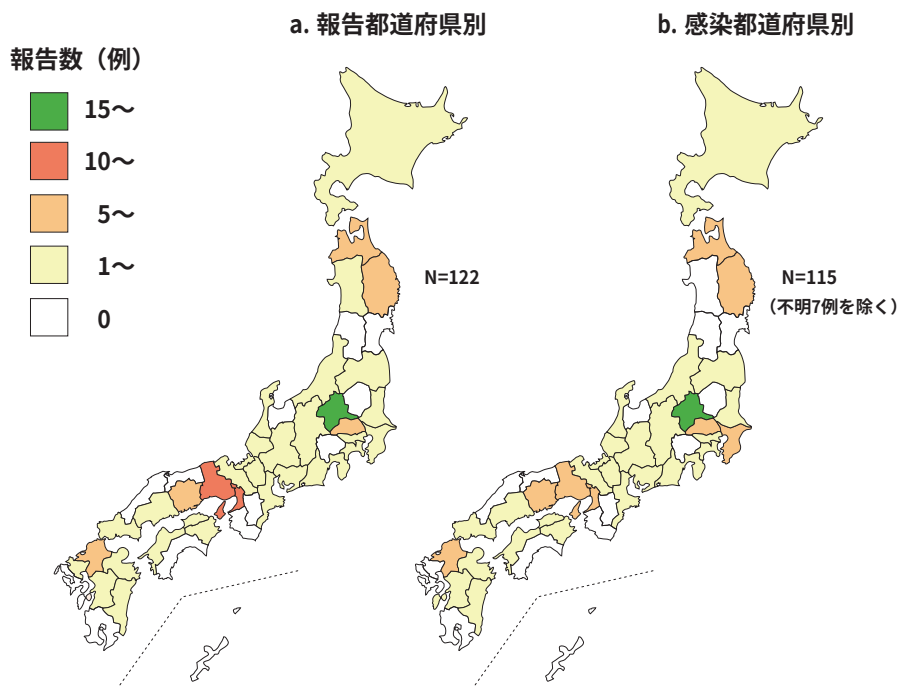


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告・感染状況(2006年第28週)

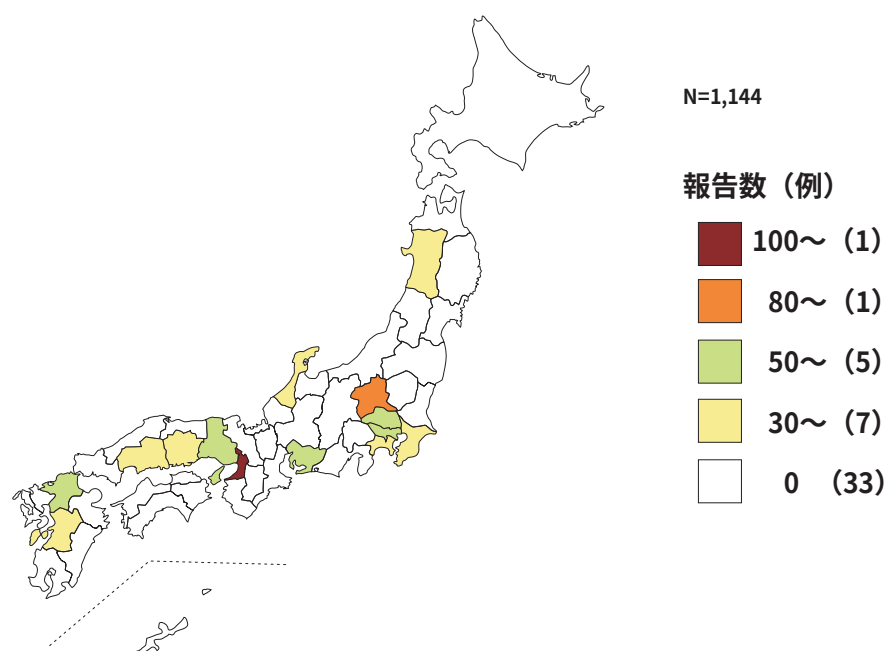


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況(2006年第1～28週)

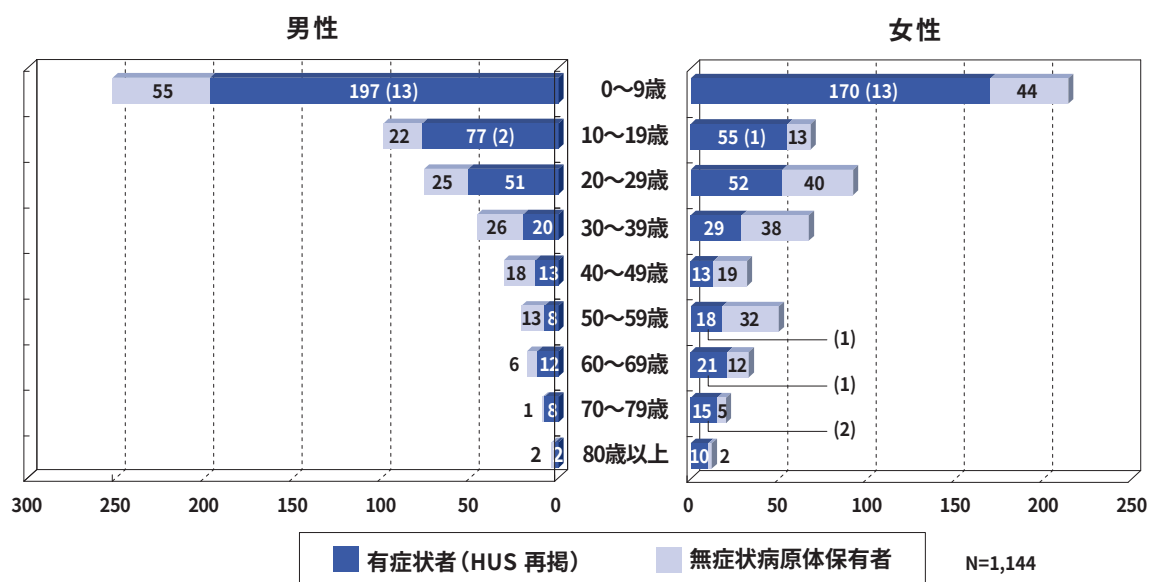


図4. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢群別・症状の有無別報告数(2006年第1～28週)



病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

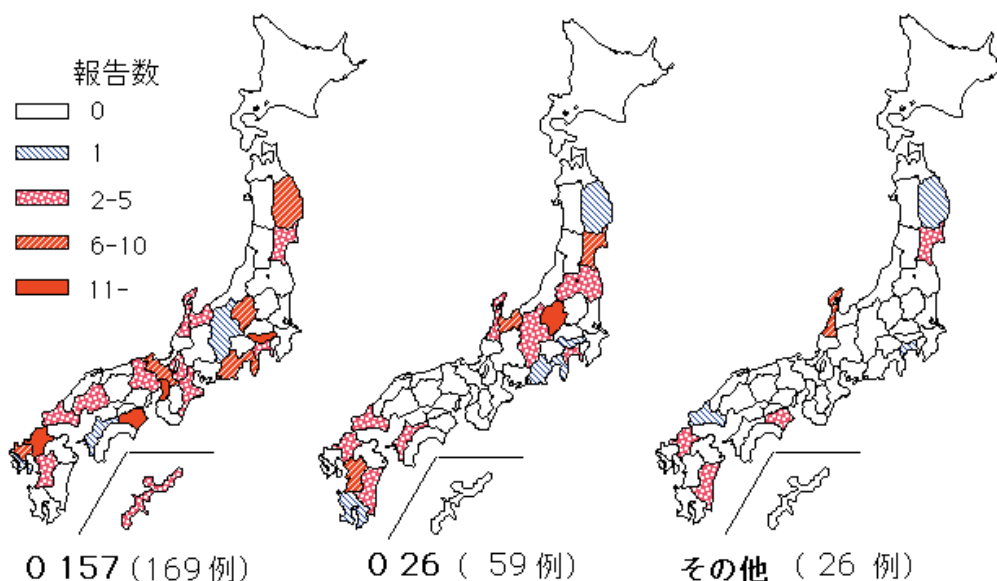
(2006年7月20日現在報告分)

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は254件で、O157が169件、O26が59件、その他の血清型が26件報告されている。第25週以降では、第26週に福岡県からO157による旅館・ホテルでの集団発生事例が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



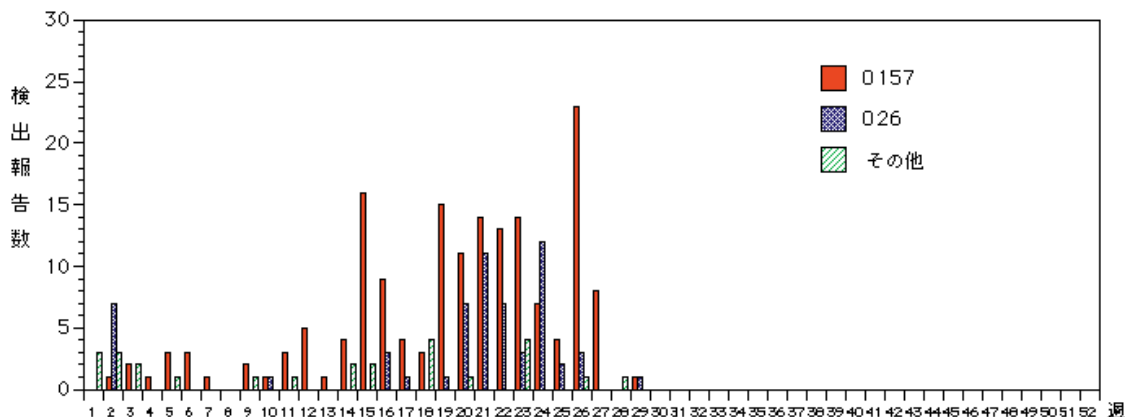
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年

(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



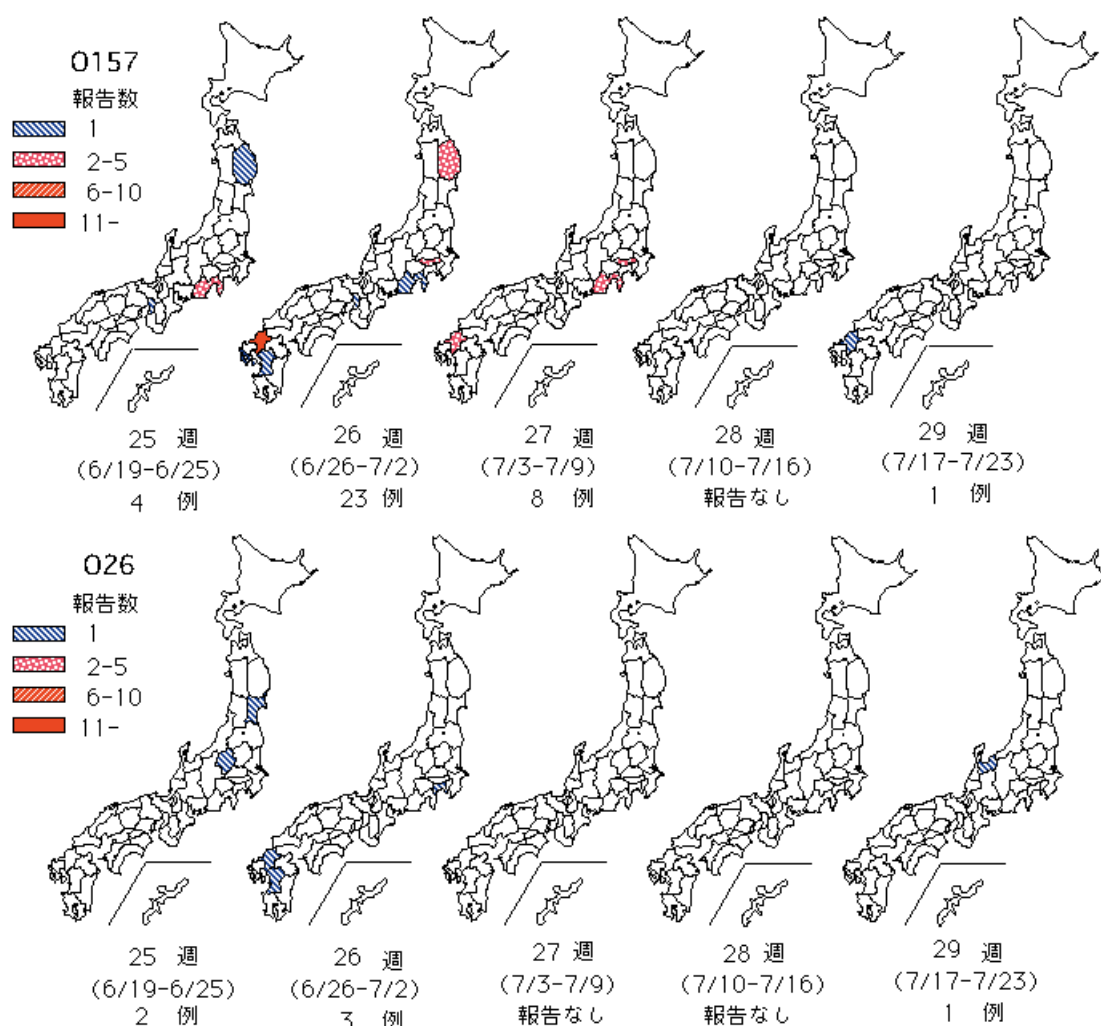
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年第25週～第29週

(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

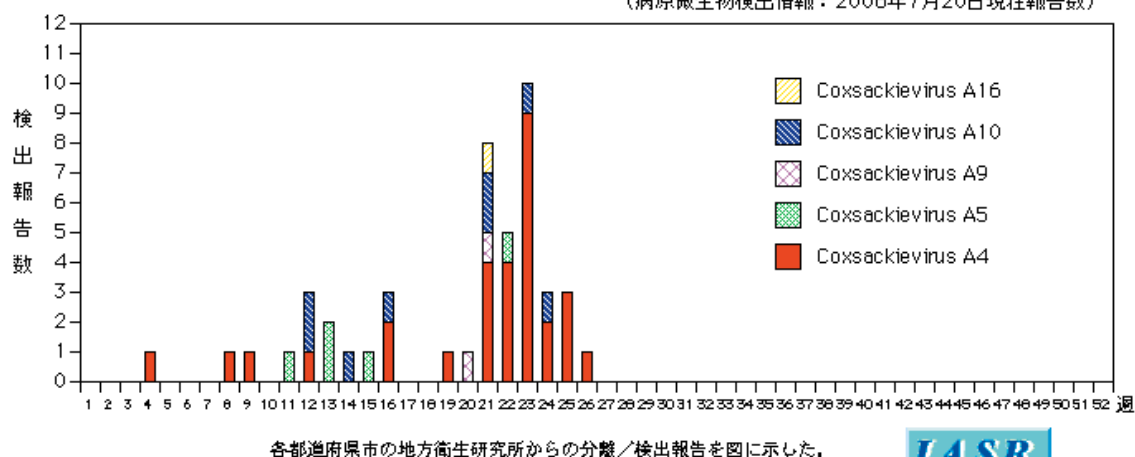
◆ヘルパンギーナ患者から検出されているウイルス 2006年

2006年は第21週以降検出報告が増加しており、A群コクサッキーウイルス(CA)46件、その他10件、計56件の検出が報告されている。

CAの型別では、4型30件、10型8件、5型5件、9型2件、16型1件が報告されている。CA4は2004年、CA10は2003年、CA6は2005年に検出が多かった。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数、2006年

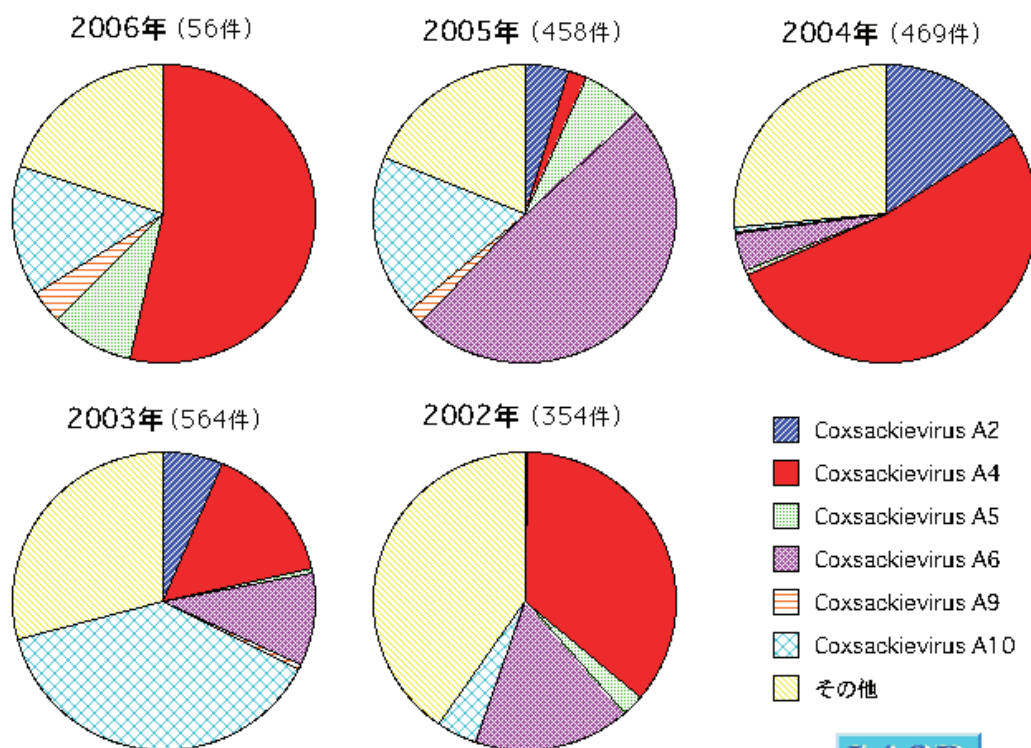
(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



IASR
Infectious Agents Surveillance Report

ヘルパンギーナ患者から分離・検出されたウイルス、2002年～2006年

(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



IASR
Infectious Agents Surveillance Report

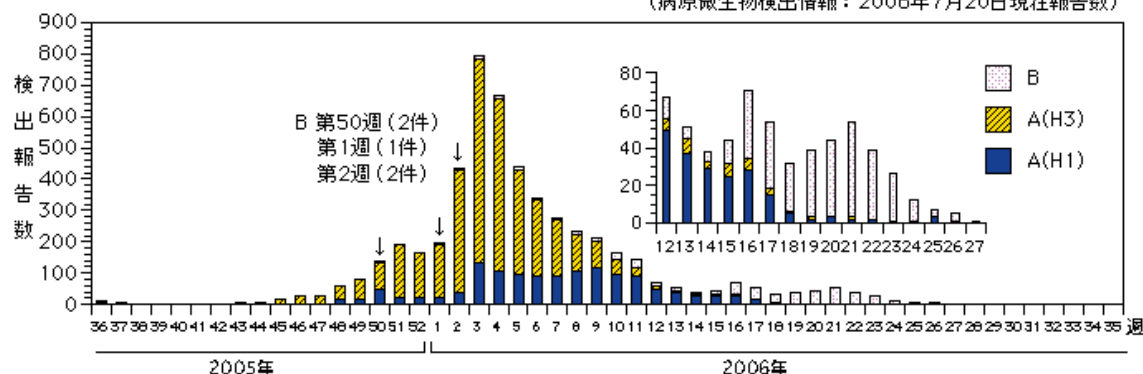
◆インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

今シーズンは夏季になっても患者発生が続いており、第16週以降はB型が主に分離されている。

B型は第24週11件、第25週4件、第26週4件、第27週1件、AH1型は第24週に1件、第25週に3件、第26週1件の検出が報告されている。AH3型は第21週に1件検出され、以降の報告は無い。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)

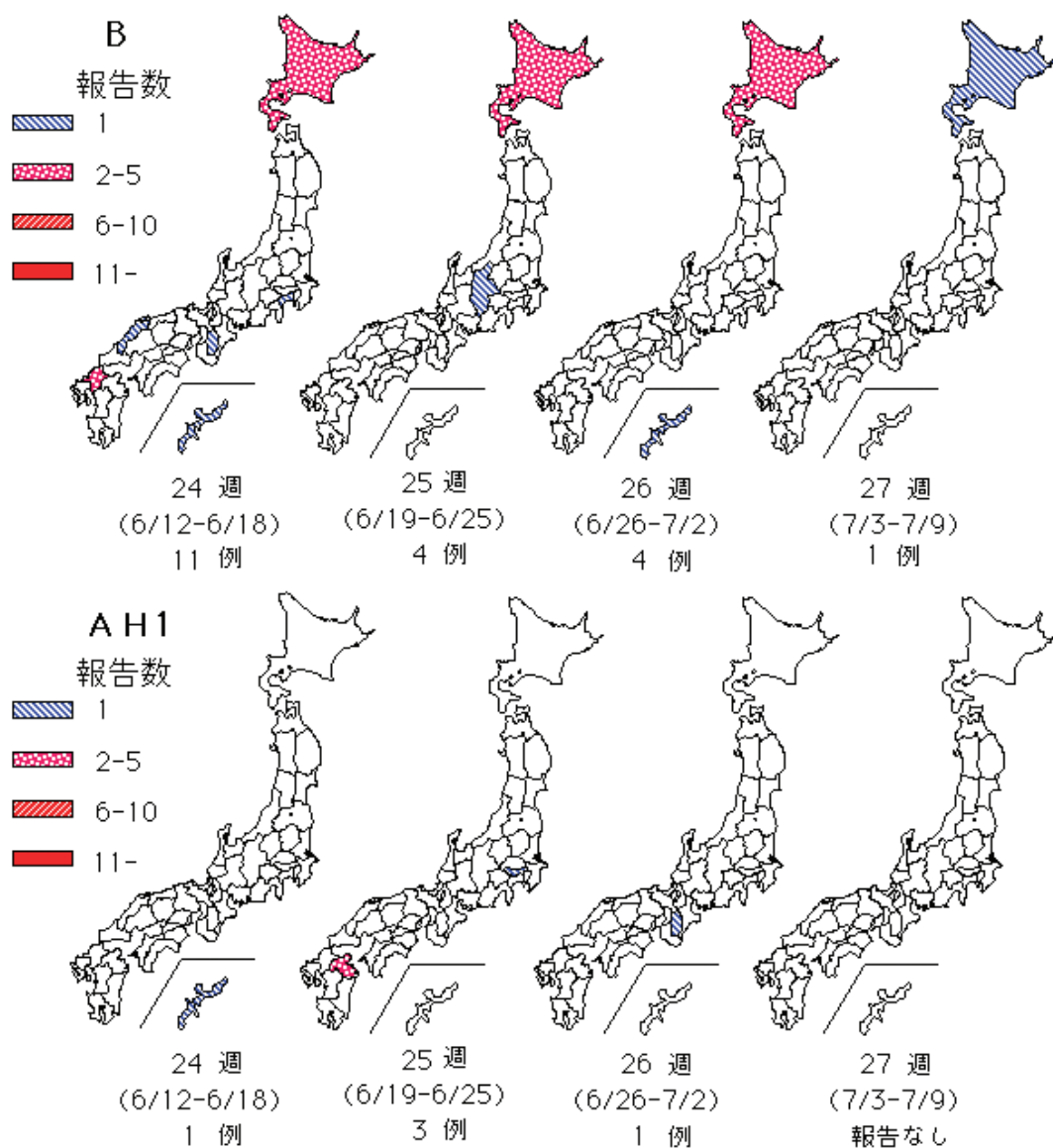


各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン
(病原微生物検出情報: 2006年7月20日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆麻しんの地域流行－千葉市

2006年4月より茨城県から千葉県にかけて麻しんが流行し、継続的な患者発生が確認されている。千葉市内においても小学校、高校、および大学での集団感染が認められ、小学校の集団事例、および散発事例から合計7株の麻疹ウイルスを検出したので、その概要について報告する。

本年4月上旬、市内の学校から麻しんの集団感染が認められる旨の情報提供が千葉市保健所にあった。保健所が管内における発生状況等を調査したところ、A大学、B高校、C高校、およびD小学校において集団感染が確認された。患者発生は、A大学で4月上旬～5月上旬、B高校で5月上旬～6月中旬、C高校で6月上旬～6月下旬、およびD小学校で5月上旬～7月中旬まで続いた。なお、本年7月14日現在で市内の麻しん患者数は集団感染事例と散発事例を合わせて144名となった。

このような状況から当所では、5月～6月にかけて市内医療機関において採取された患者の咽頭ぬぐい液7検体(D小学校の集団感染例4名、および散発例3名)について、B95a細胞によるウイルス分離とRT-PCRを実施したところ、分離培養では2検体から麻疹ウイルスが分離され、RT-PCRでは7検体すべてから麻疹ウイルス遺伝子が検出されたが、そのうちの5検体が、2006年以前に麻しんワクチンの接種を受けた者からであった。ダイレクトシーケンスによりPCR産物の塩基配列(N遺伝子3'末端領域456 bp)を決定し、そのうちの385 bp(position: 1301-1685)についてNJ法による分子系統樹解析を行った。その結果、D小学校の集団感染例4株は日本固有の遺伝子型D5に分類(Bangkok.THA/93/1と同一のクラスター)され、その配列はすべて一致した。一方、散発例3株は中国と韓国に固有の遺伝子型H1に分類(Hunan.CHN/93/7と同一のクラスター)され、その配列もすべて一致した。また、N遺伝子3'末端領域(456 bp)を用いたBLAST2 searchの結果、遺伝子型D5に分類された株はMVi/Queensland.AU/37.03と100%の相同性を有し、遺伝子型H1に分類された株はMVs/Taipei.TWN/11.93と100%の相同性、国内で分離されている株ではMVi/Tokyo.JPN/20.00(S)と最も高い相同性(99.0%)を有していた。

千葉市で検出された麻疹ウイルスの遺伝子型は、2001年がD5型、2002年と2003年はH1型が主流株であった。本年は集団感染例からD5型、散発事例からH1型が検出されているが、今後もウイルス分離を含めた野外麻疹ウイルス株の遺伝子型の解析は公衆衛生学上重要であることから、その動向に注目したい。なお、散発例から検出された麻疹ウイルスH1型の3株のうち1株(症例5)は、明らかに中国(北京)滞在中に感染したものであり、他の2株(症例6と7)は海外渡航歴がなく国内での感染であったが、これら3株の配列(N遺伝子3'末端領域456 bp)が同一であったことから、現在もなお中国や韓国の流行株であるH1型が日本に持ち込まれ、伝播している可能性が強く示唆された。

今回の地域流行によって、大学、高校、および小学校の年代に感受性者が多数存在することが推測されたものの、市内の感染症発生動向調査定点から最初に患者数が報告されたのは、第20週(定点当たり患者数0.06人)であった。その後、定点当たり患者数は0.06人～0.13人の間で推移し、明らかな集団発生は確認されていなかった。しかしながら、学校からの情報提供により開始した今回の流行調査において、100名以上の患者が発生していることが明らかとなり、学校における集団感染事例も確認された。このことは、発生数が少なくなっている麻しんにおいては、定点医療機関からの報告による発生動向調査(定点観測)のみでは、患者の発生状況を

正確に把握できない可能性があり、今後の監視方法を検討する必要性を示唆するものであると考えられた。

千葉県環境保健研究所医科学課

横井 一 佐野亜木 秋元 徹 三井良雄 小笠原義博 池上 宏

千葉県保健所感染症対策課

東條稔子 田村光三 川野辺栄喜 沖 実

(IASR 2006年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年7月20日－更新23

インドネシア保健省は、同国で54例目となるH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確定した。患者は死亡したが、ジャカルタ州EastJava地区の44歳男性である。2006年6月24日に発症し、7月10日に入院した後、同12日に死亡した。

患者は近所の家禽から感染した可能性があるため、動物保健当局は検査のために検体を採取した。可能性のある別の感染源は現地の生鮮市場であり、患者は屋台店主としての仕事で、定期的にここを訪れていた。

インドネシアでこれまでに診断確定した患者54名のうち、42名が死亡している。

●2006年、トルコでクリミア・コンゴ出血熱患者数の増加

Eurosurveillance Weekly Vol.11, Issue 7 2006年7月20日

2006年1月1日から6月30日の間にトルコにおいて、323名がクリミア・コンゴ出血熱(CCHF)の検査を受けた。ELISA法とリアルタイムPCR法を用いた検査により、うち150名で診断が確定した。死亡した11名を含む、検査で確定されたこれらの患者は、トルコの22州から報告されている。感染が最も深刻であったのは、トルコ北東部のKelkit渓谷にある6州である(Tokat, Sivas, Gümüşhane, Amasya, Yozgat, およびCorum州)。検査を受けた患者の多くはダニに刺されていたと報告されている。

地中海沿岸の人気のある観光リゾートからの患者報告はない。過去3年間の年別患者(死者)数は、2003年150名(6名)、2004年249名(13名)、2005年266名(13名)である。

2006年のこの時期までに150名の確定患者があったことは、検出、診断、届出などが改善したことを考慮しても、今までの年と比較してこの地域でのウイルスの活動性が増加していることを示唆する。

トルコで行われている制圧対策

トルコ保健省は環境省や農務地方省と協力して制圧対策を開始し、全国的なCCHF強化サーベイランスも確立した。トルコ中の医療施設に、リバビリンによる治療を含めた患者取り扱いガイドラインが配布された。Ankara, Erzurum, Sivas, Samsuにおいて、隔離施設を有するレファレンス病院4カ所を指定した。最もリスクの高い職業の人には、個人防御対策についての緊急通知がなされた。ダニ刺咬をさけるための個人防御に重点をおいた一般人啓発キャンペーンが行われていたが、テレビ・ラジオ・ポスターや配布物を用い、農村部の住民を対象としている。また、保健省はウェブサイトで情報提供を行っている。WHOのトルコ事務所と欧州地域事務局は、疾患の活動展開を注意深く見守るため、トルコ保健省と情報を共有している。

クリミア・コンゴ出血熱

CCHFウイルス感染症はアフリカ、東欧およびアジアの多くの国に分布し、中東においても発生がみられる。前回のヨーロッパでの流行は、2001～2003年のトルコ(83人)、2001年のコソボとアルバニア(それぞれ18人、8人)である。CCHFはヒトにおいては重症化し、約30%の高い致死率で、死亡は発病第2週に起こることが多い。ダニ刺咬による感染後、通常1～3日、最大9日の潜伏期間がある。出血がみられるのはウイルス性出血熱としてでき上がった場合であり、普遍的予防

策が厳密に遵守されない場合、医療従事者に対する危険も存在する。経口または経静脈的なりバビリンによる治療を早期に行うことが、病期短縮と改善につながる可能性があるので、疾患を疑うことが患者、医療従事者両方の利益となる。

CCHFウイルスはナイロウイルスNairovirus属のグループ(その中でもヒトへの病原体として最も重要)のウイルスで、ナイロウイルス属のウイルスは主にHyalomma属のダニにより伝播される。

CCHFウイルスの保有動物としては野ウサギ、トリ、ダニ、ウシ、ヒツジ、ヤギがある。ヒトがCCHFに感染するのは、家畜(または患者)の血液や他の感染臓器に直接接触したり、ダニに刺されたりすることによる。

患者の多くは畜産従業員、食肉処理場従業員、獣医師などの家畜関連産業の関係者に発生する。

トルコ北東部への旅行者に対するアドバイス

欧州疾病対策予防センターは感染地域への渡航者に対し、ダニ刺咬を最小限とするような、一般的な予防策をとるようアドバイスする；

- なるべく肌の露出を抑え、手や足を覆う明るい色の服(ダニを見つけやすい)を着用する；ズボンを靴下の中に折り込み、袖を伸ばす。
- 昆虫忌避剤を肌の露出部分(たとえば30%のDEET)、衣服(ペルメトリン)に使用する；妊婦および12歳以下の小児は、使用前に医師または薬剤師に相談すること。
- ダニに曝露された可能性があるときには全身をよく調べ、ダニが見つかったら、ピンセットを使って着実かつおだやかに取り除く。ダニを除去する際に、手袋やティッシュで手を守る。なるべく皮膚に近いところでダニをつまみ、1～2回回転させ、ゆっくり着実に引き抜く。皮膚に口の部分が残らないように気をつける。刺された部分は水と石けんで洗い、ヨードで消毒する。数日間はその部分を観察し、もしも刺咬部に膿疱、発疹などの症状がみられれば、医師に相談する。

流行地を旅行した人で、ダニに刺された後になんらかの症状がみられた場合、医師に相談すること。



感染症の話

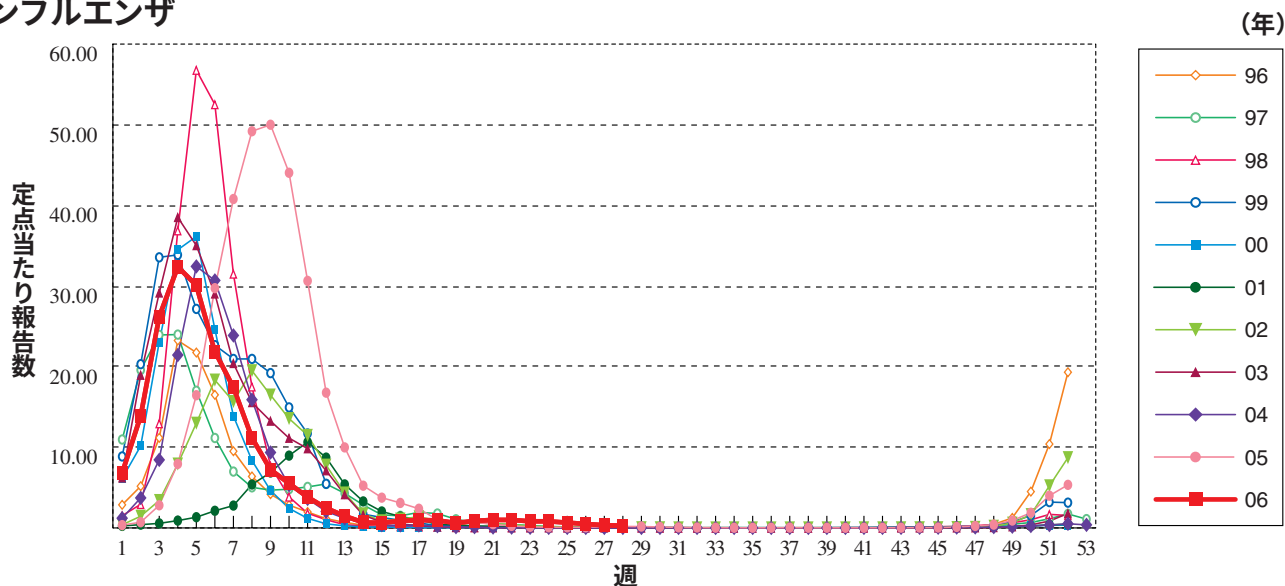
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

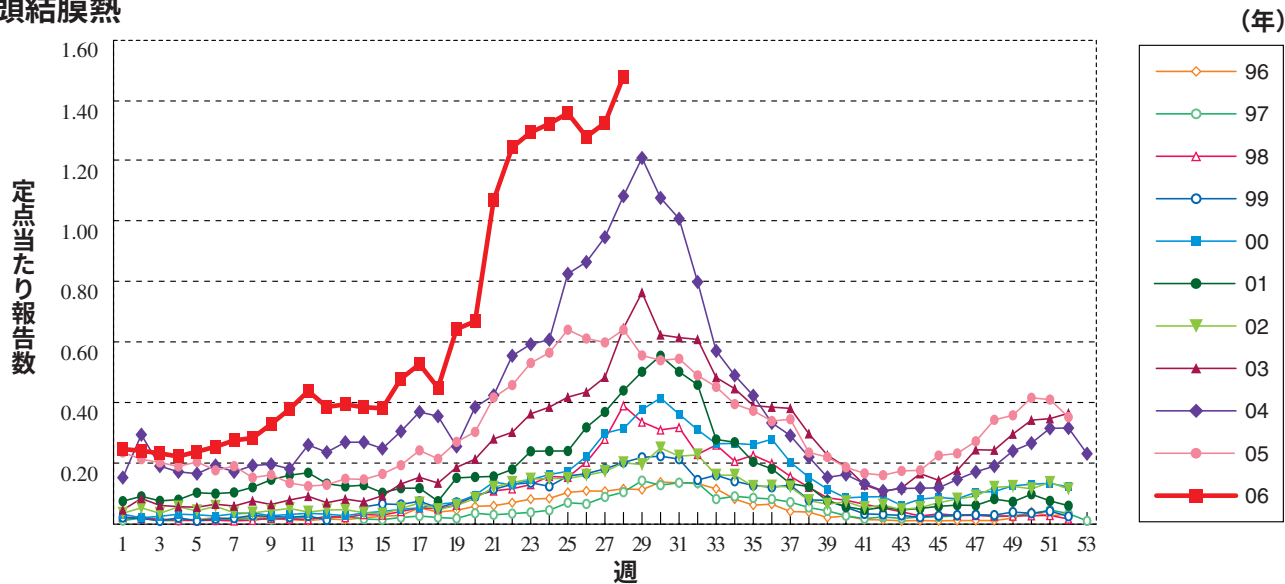


グラフ総覧(28週)

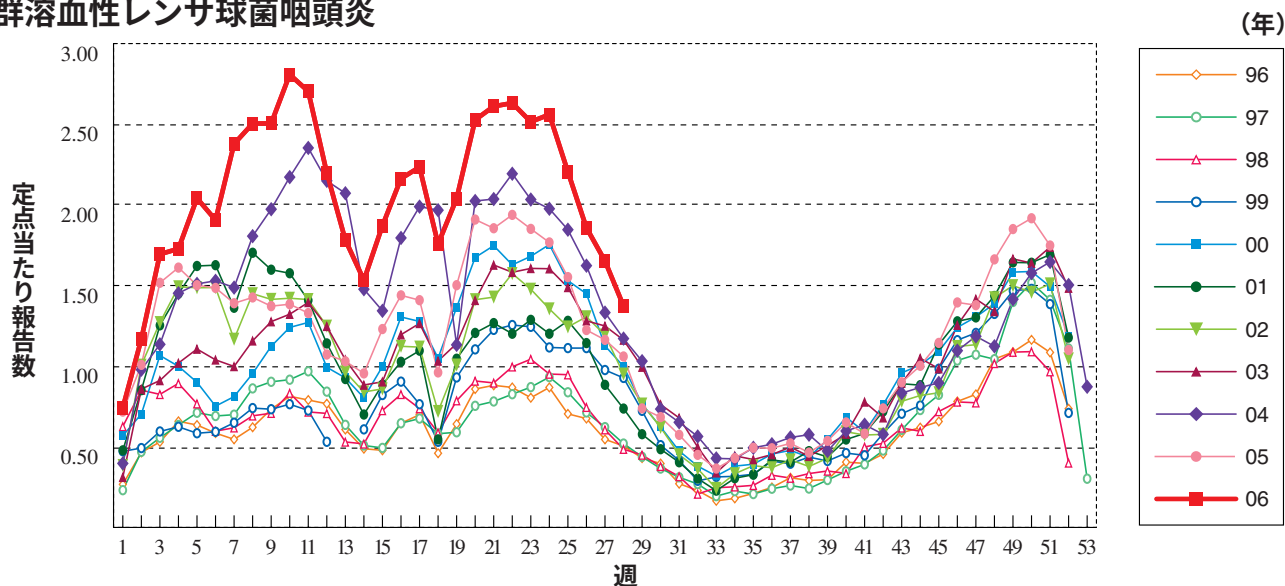
インフルエンザ



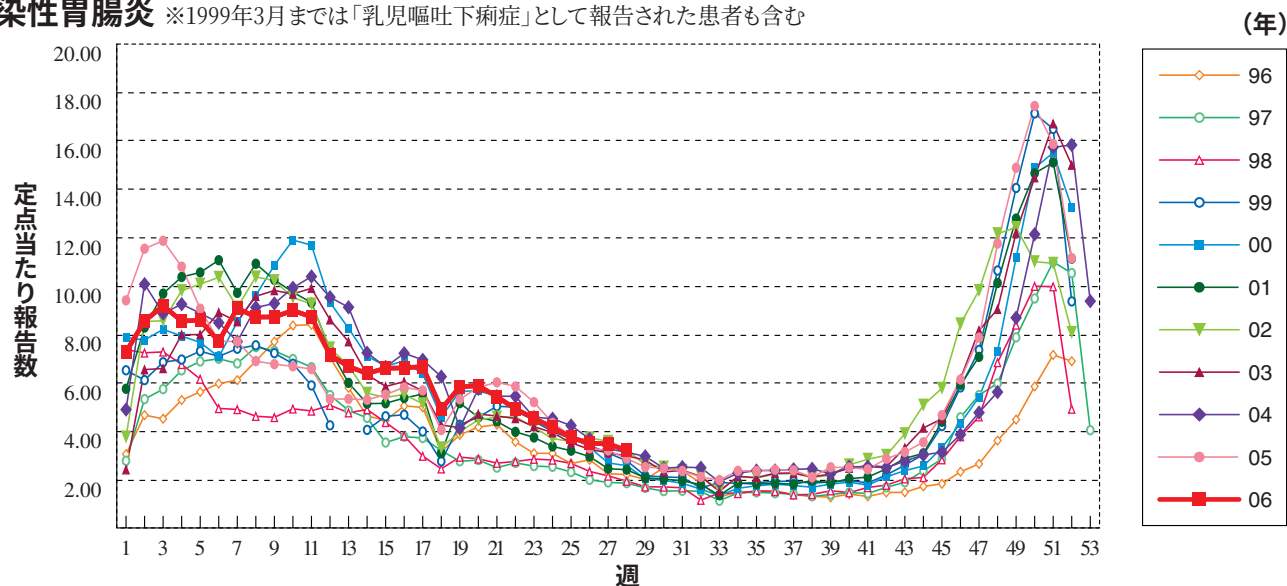
咽頭結膜熱



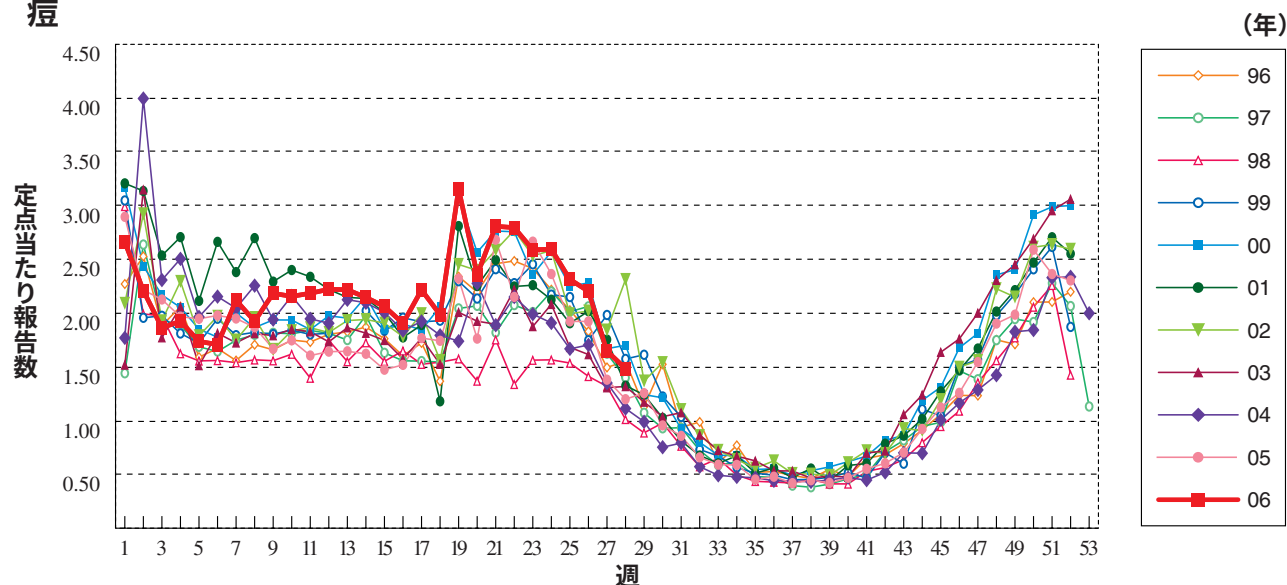
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



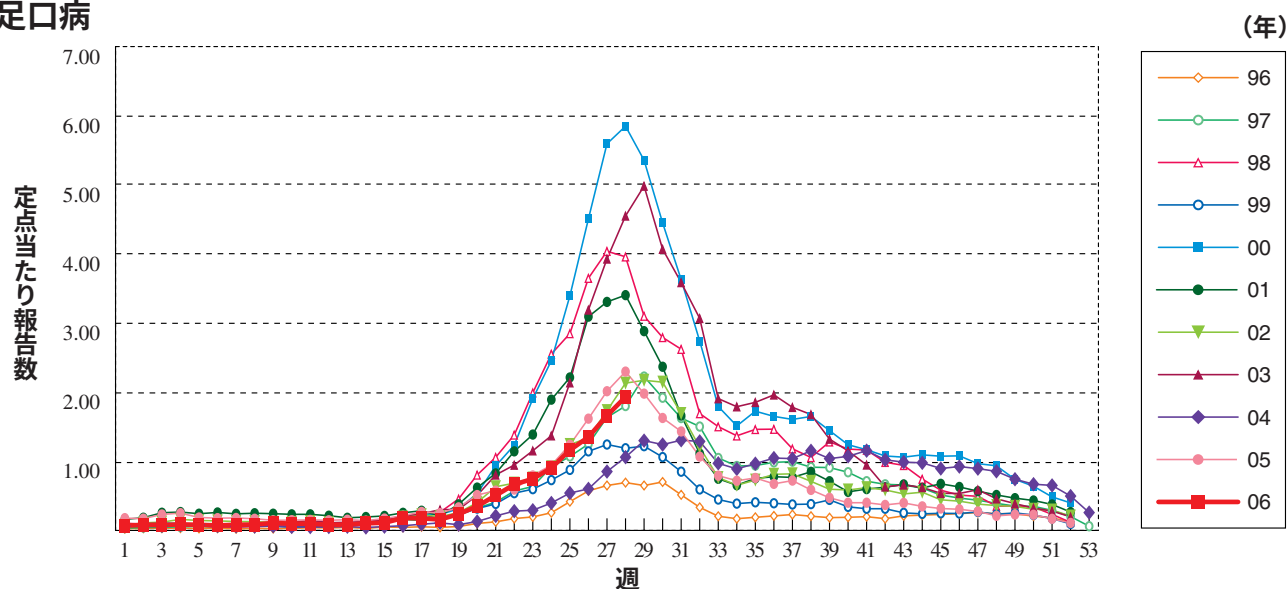
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



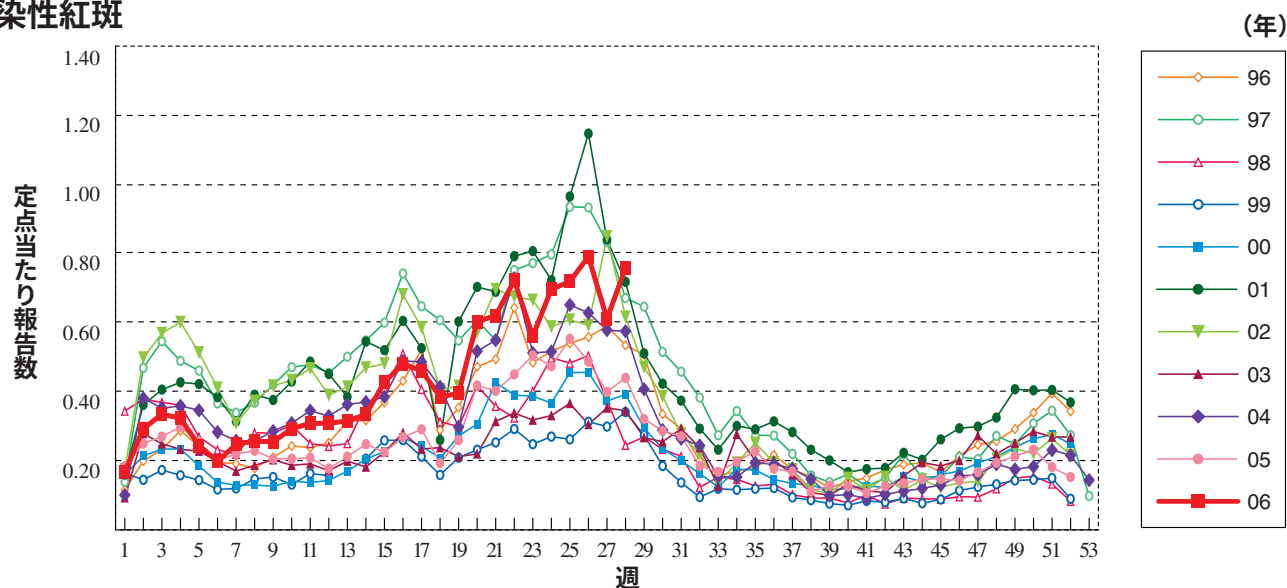
水痘



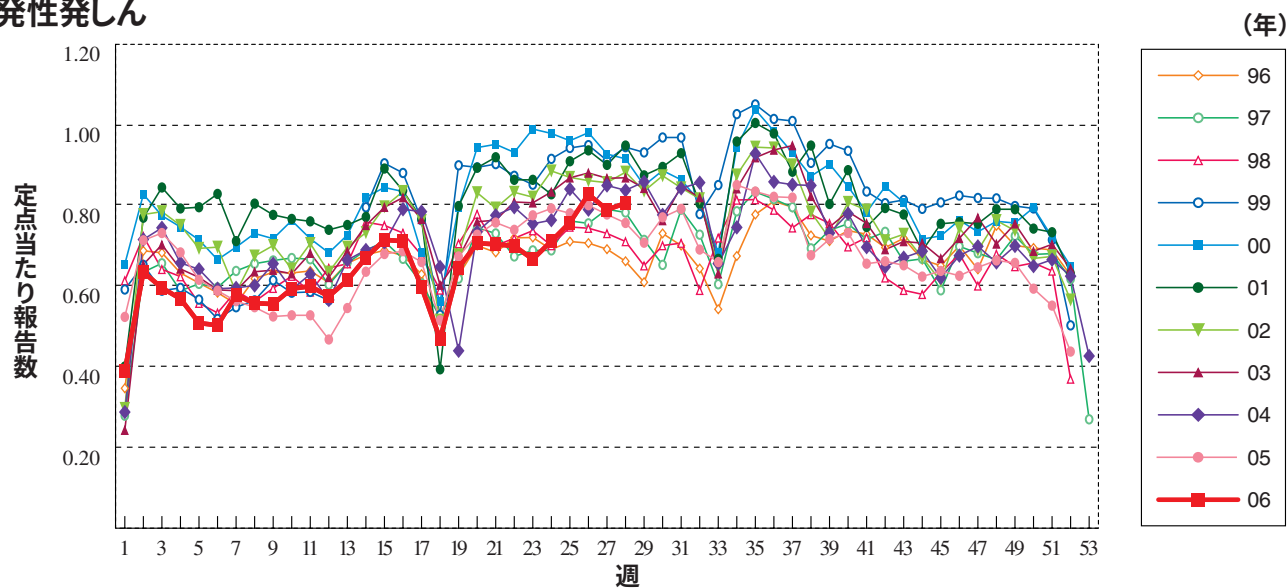
手足口病



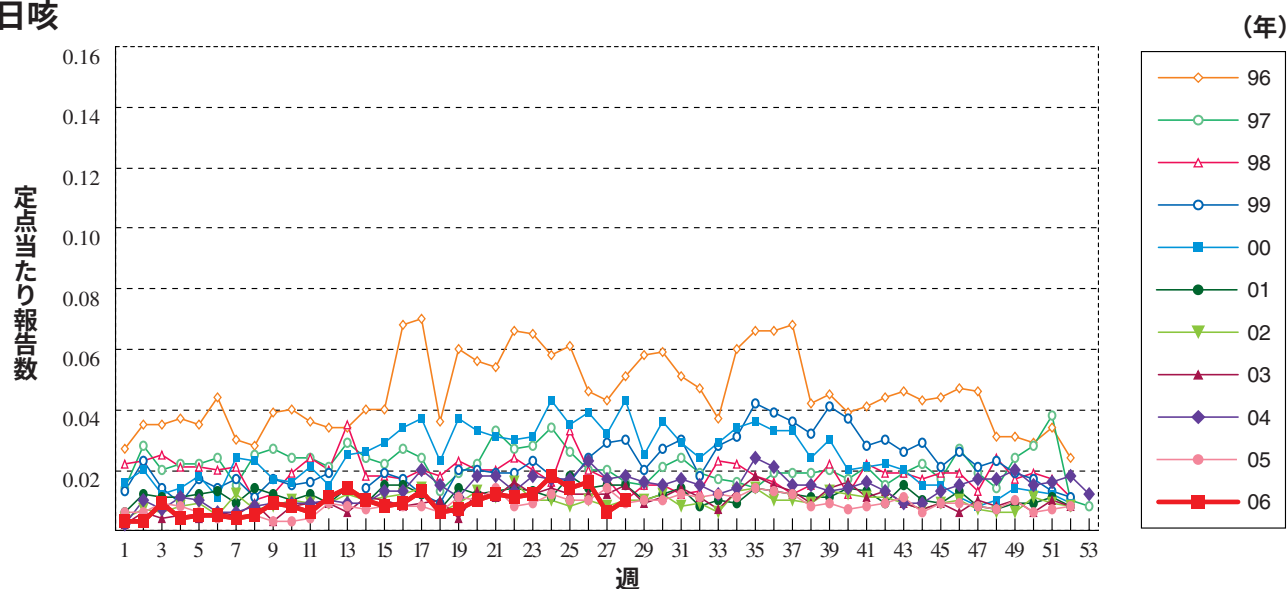
伝染性紅斑



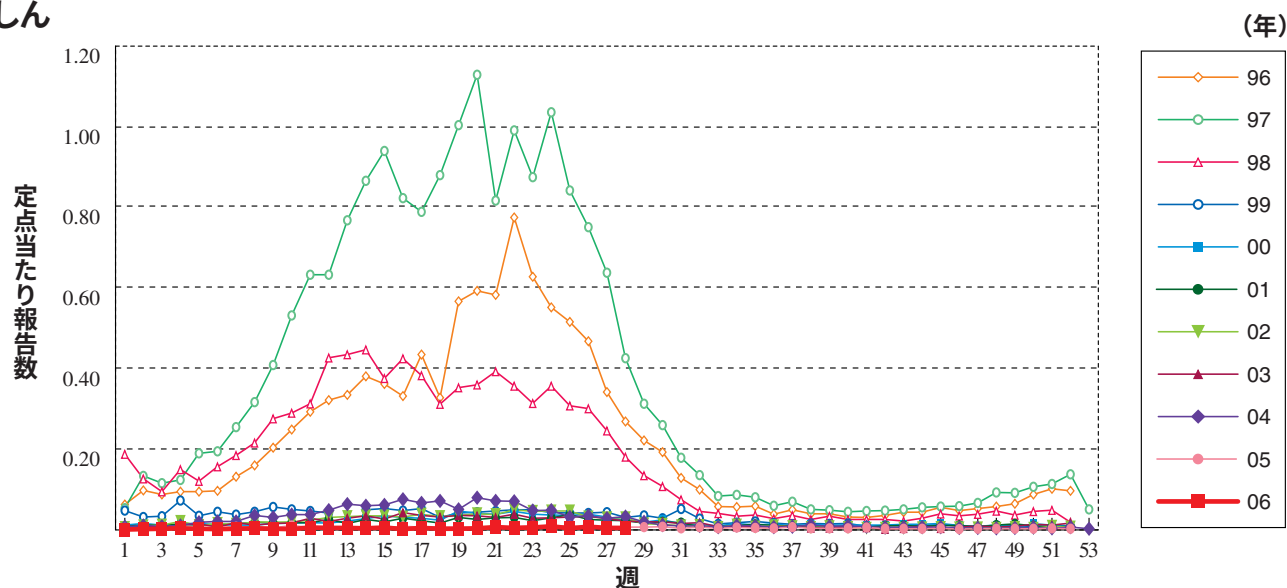
突発性発しん



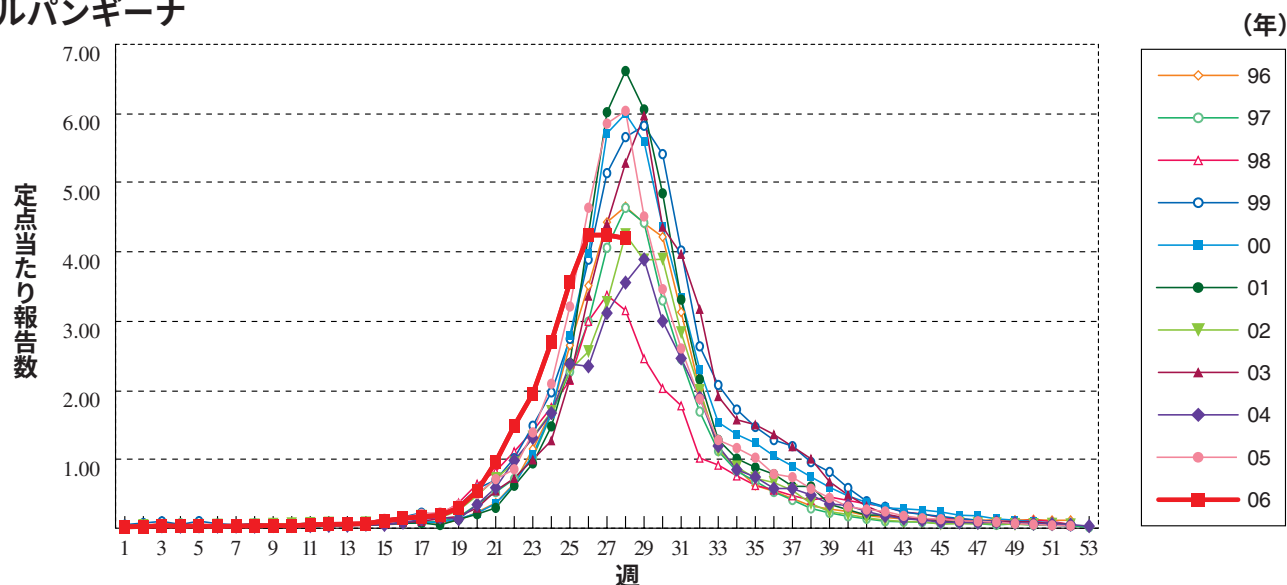
百日咳



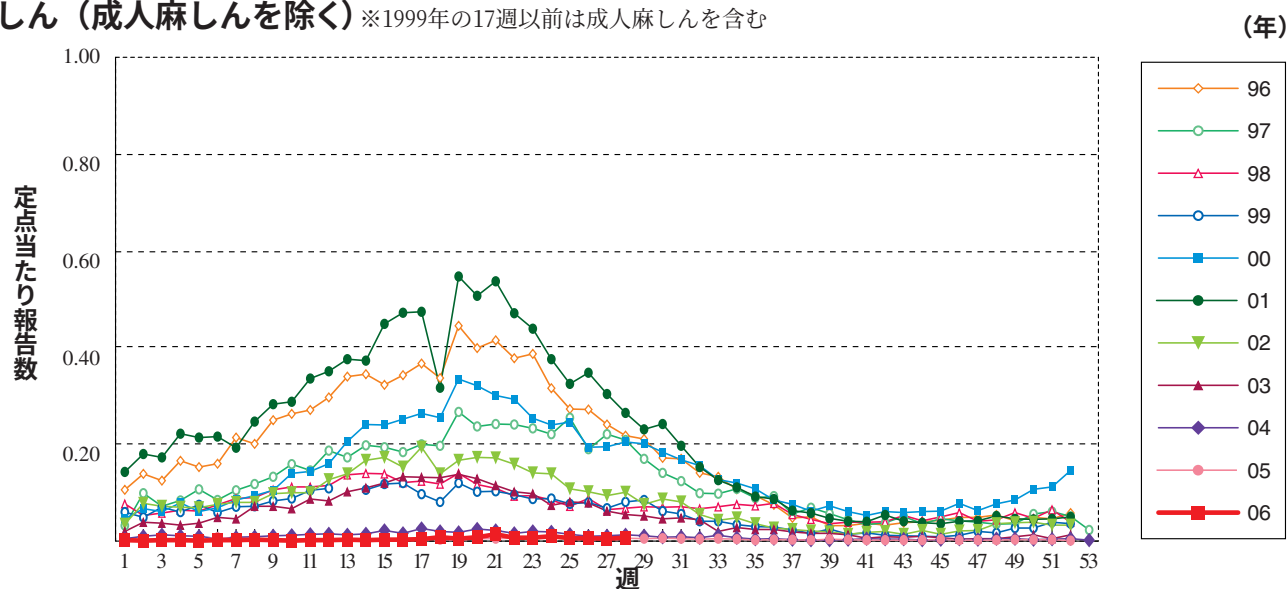
風しん



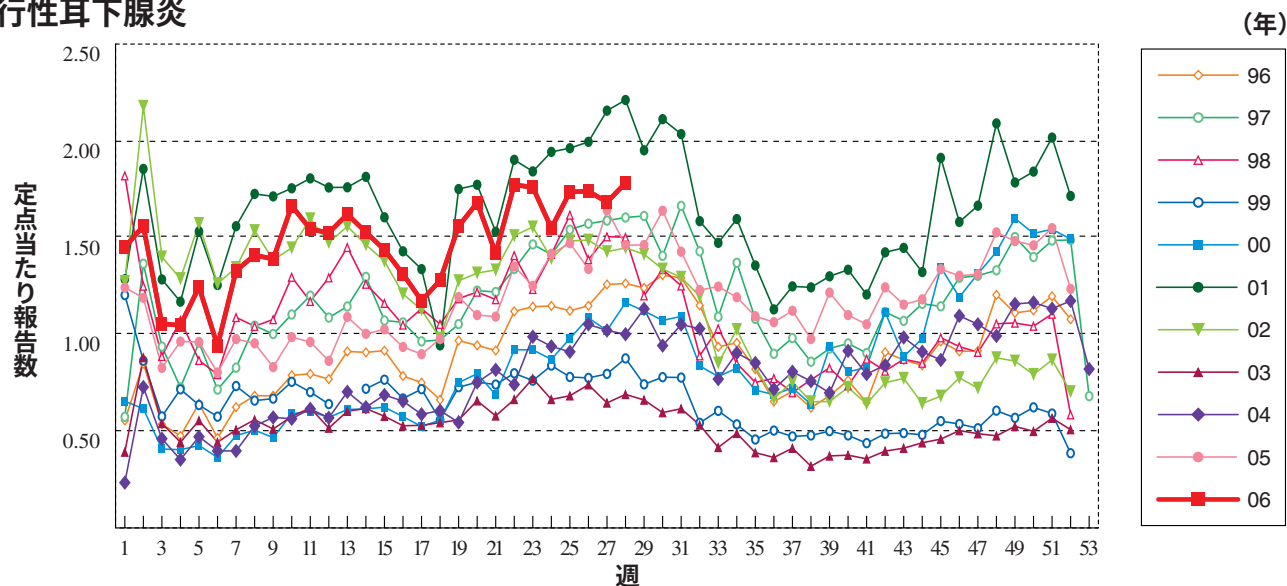
ヘルパンギーナ



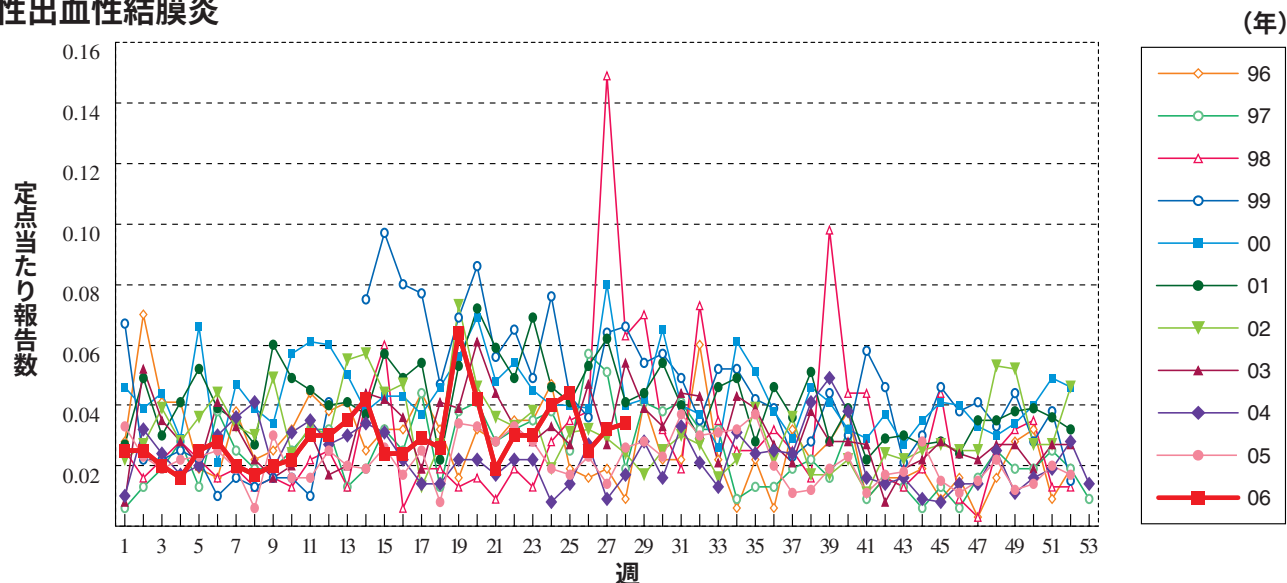
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の17週以前は成人麻しんを含む



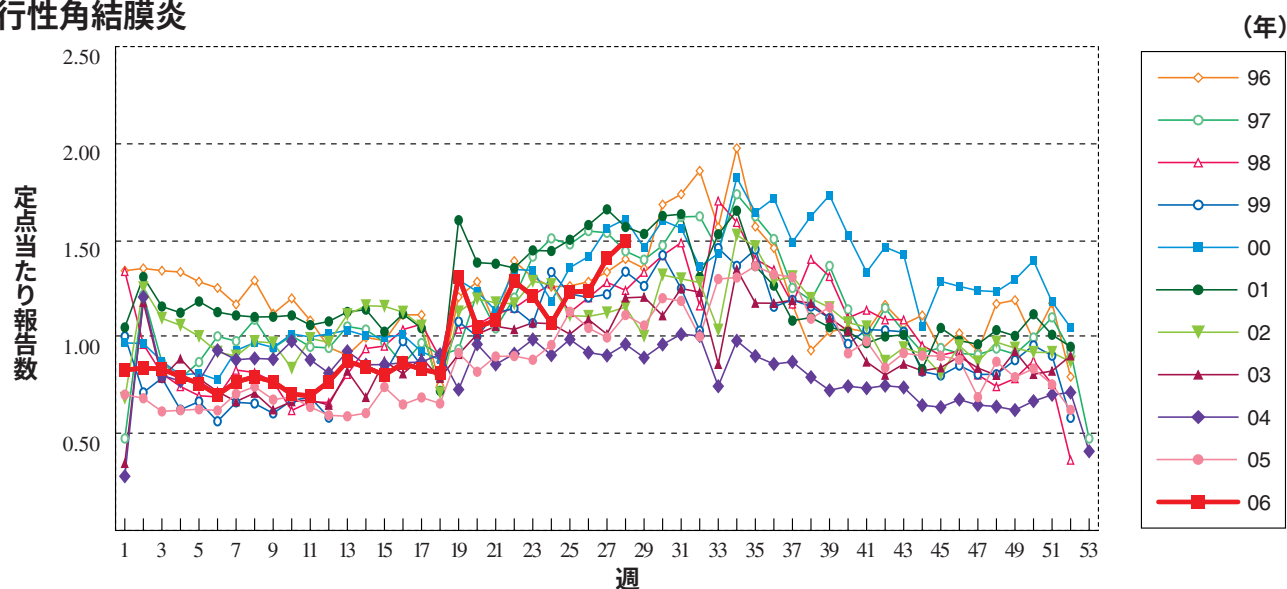
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

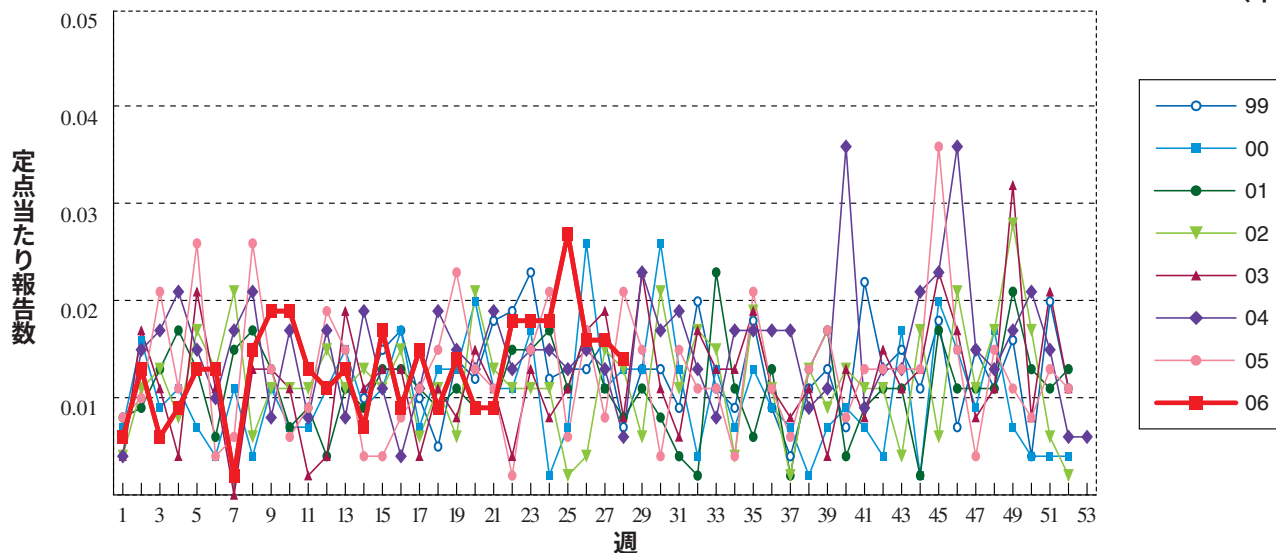


流行性角結膜炎



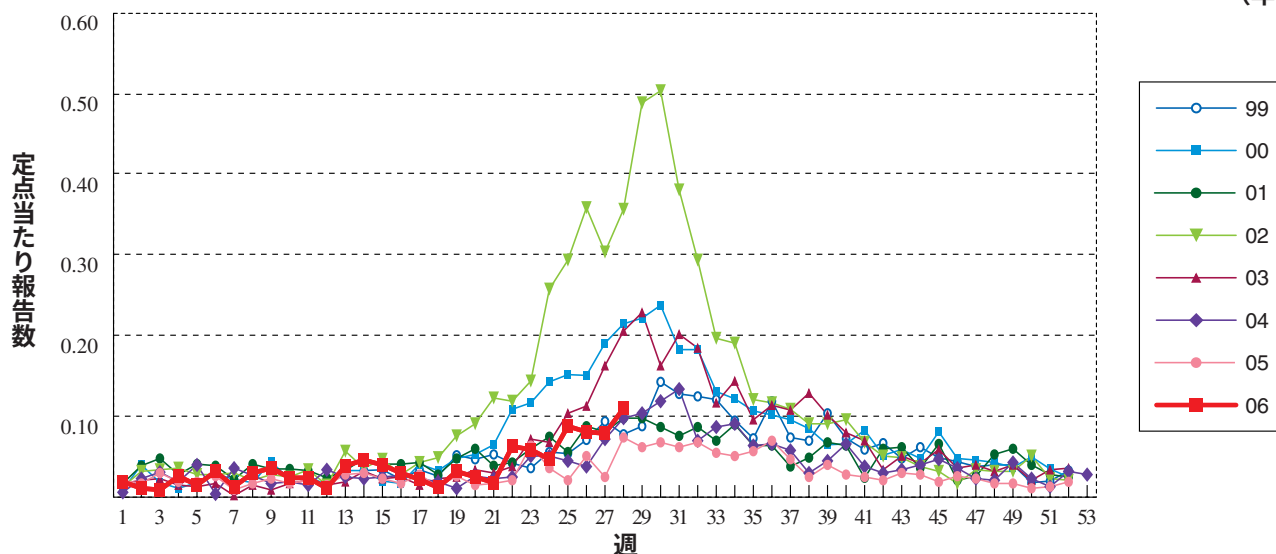
細菌性髄膜炎

(年)



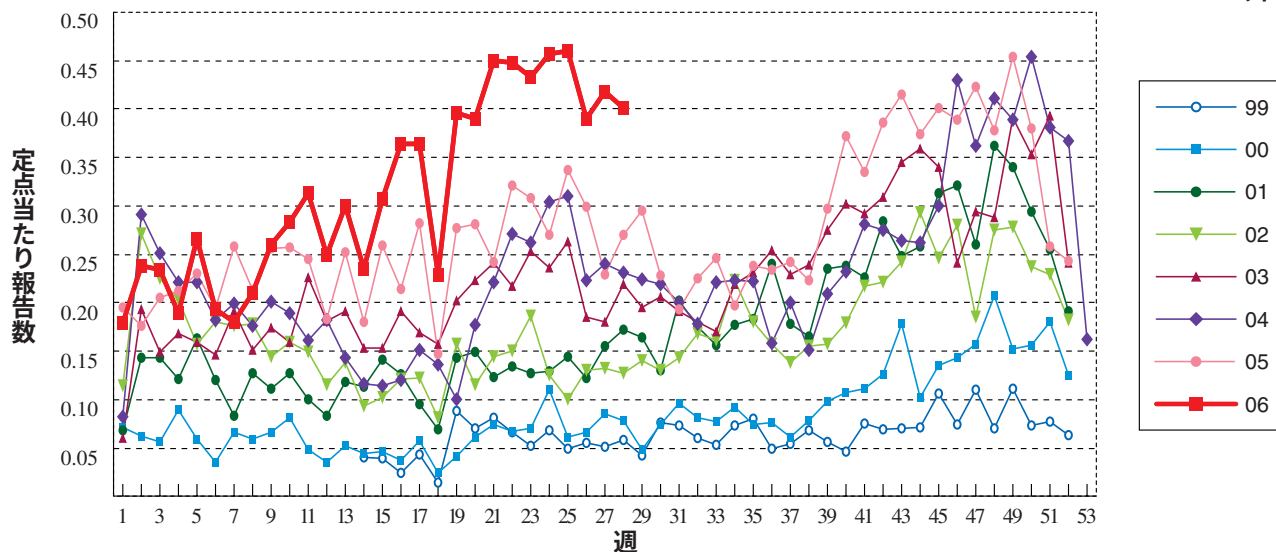
無菌性髄膜炎

(年)



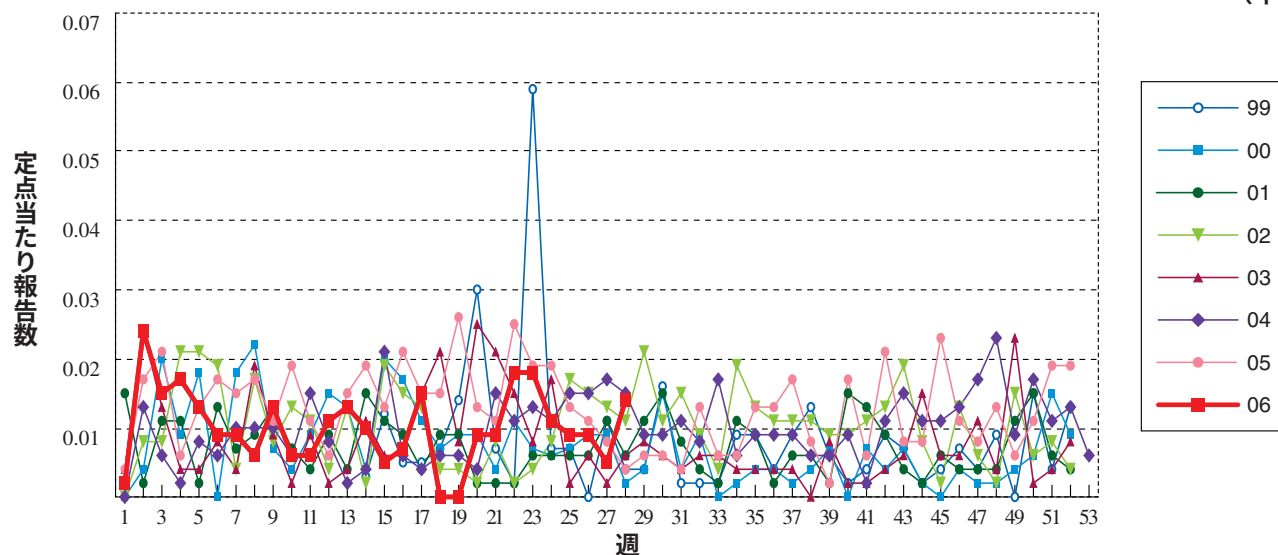
マイコプラズマ肺炎

(年)



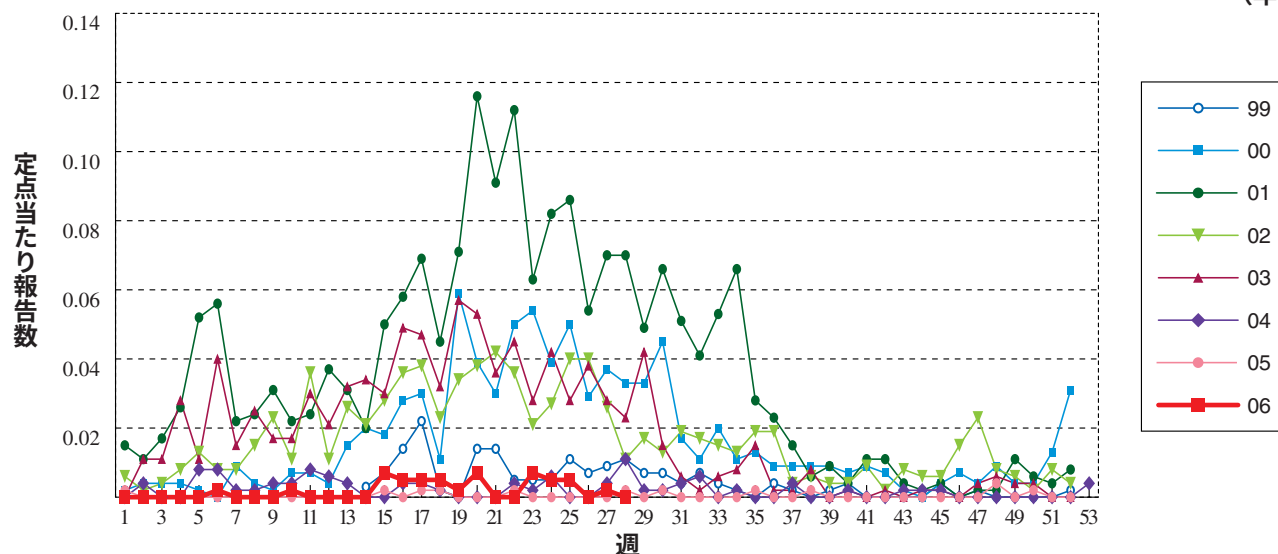
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



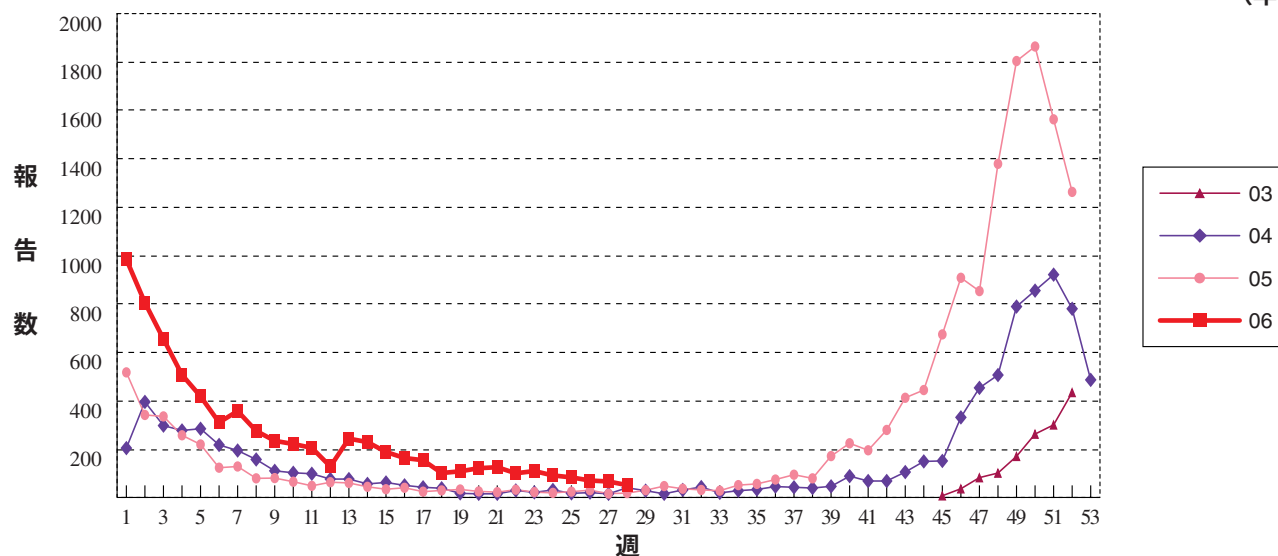
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

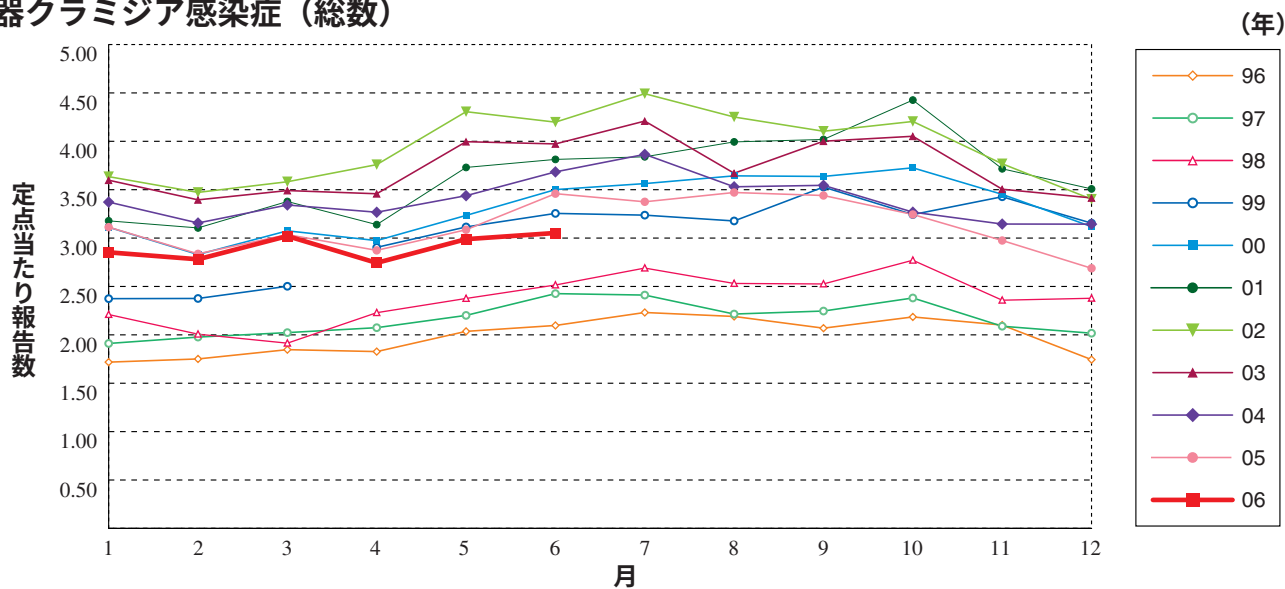




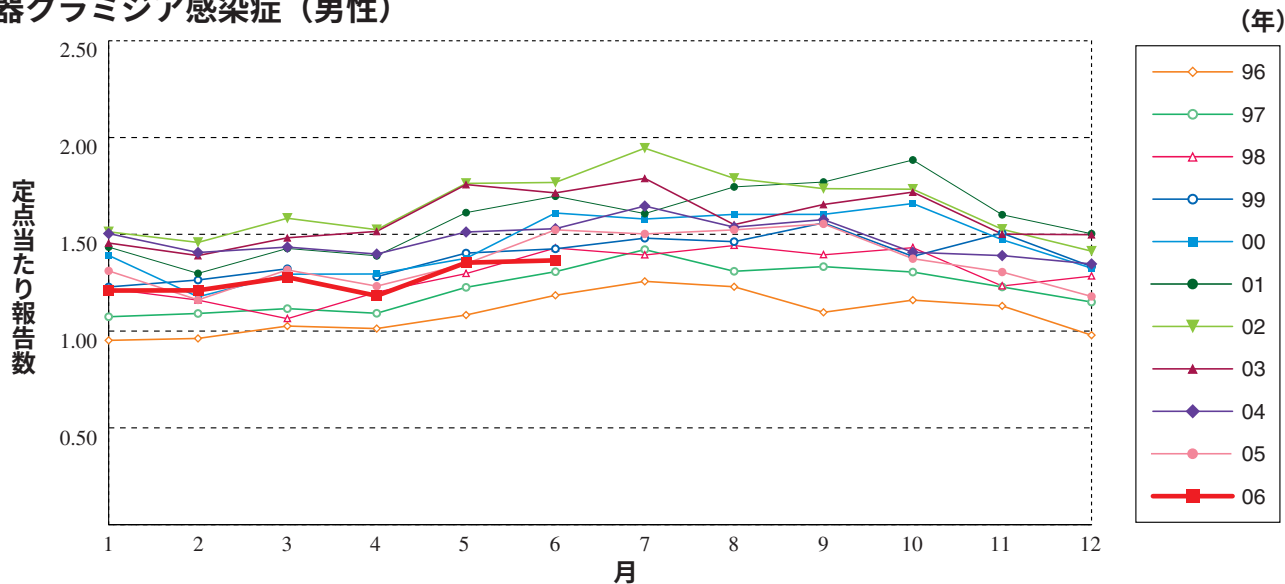
グラフ総覧(6月)

注) 1999年4月以降は定点設定が変更されております。

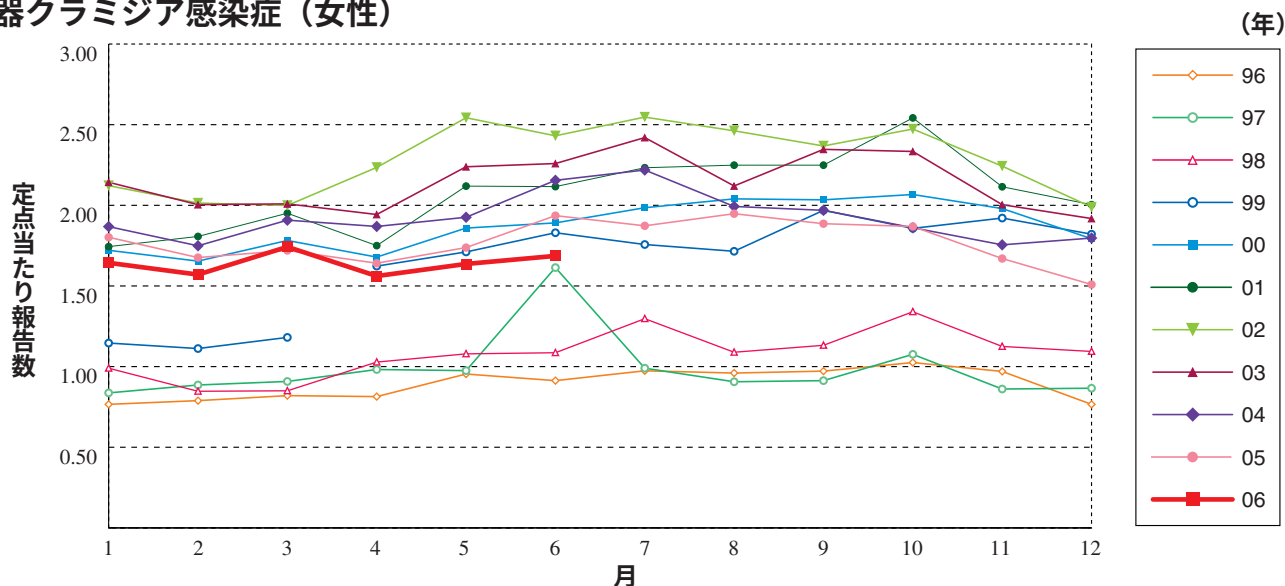
性器クラミジア感染症 (総数)



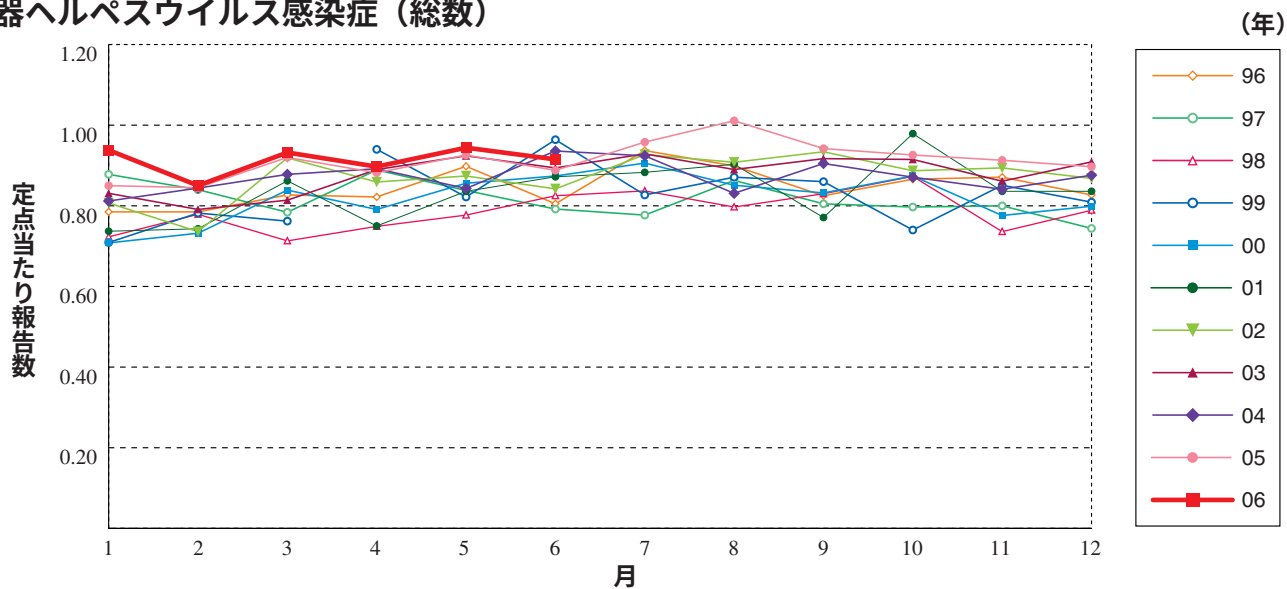
性器クラミジア感染症 (男性)



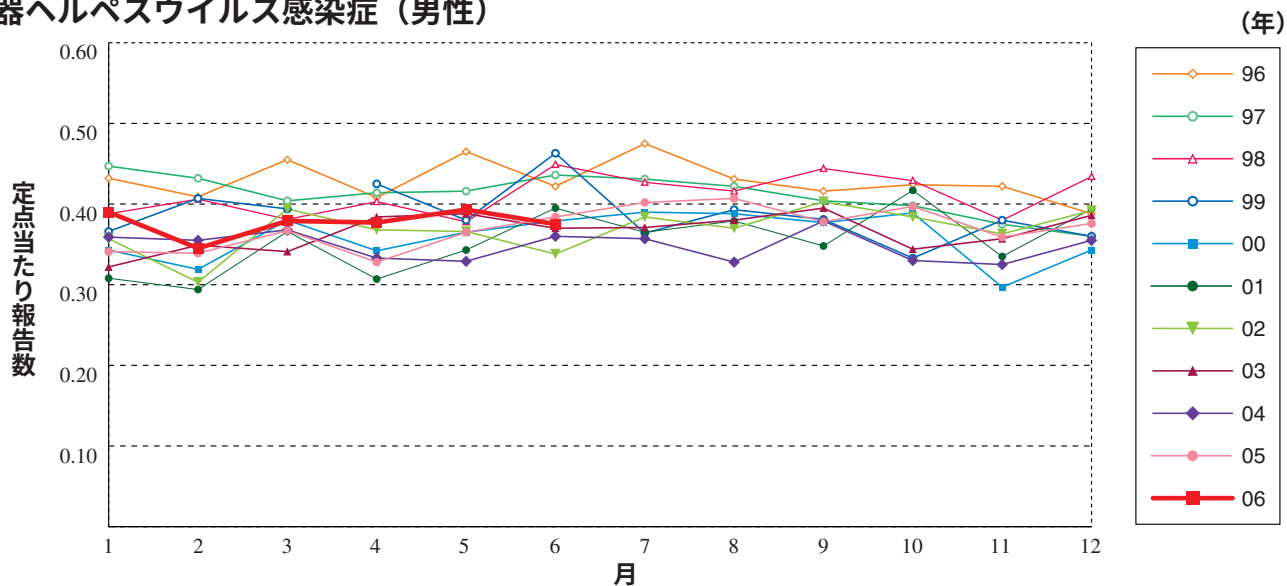
性器クラミジア感染症 (女性)



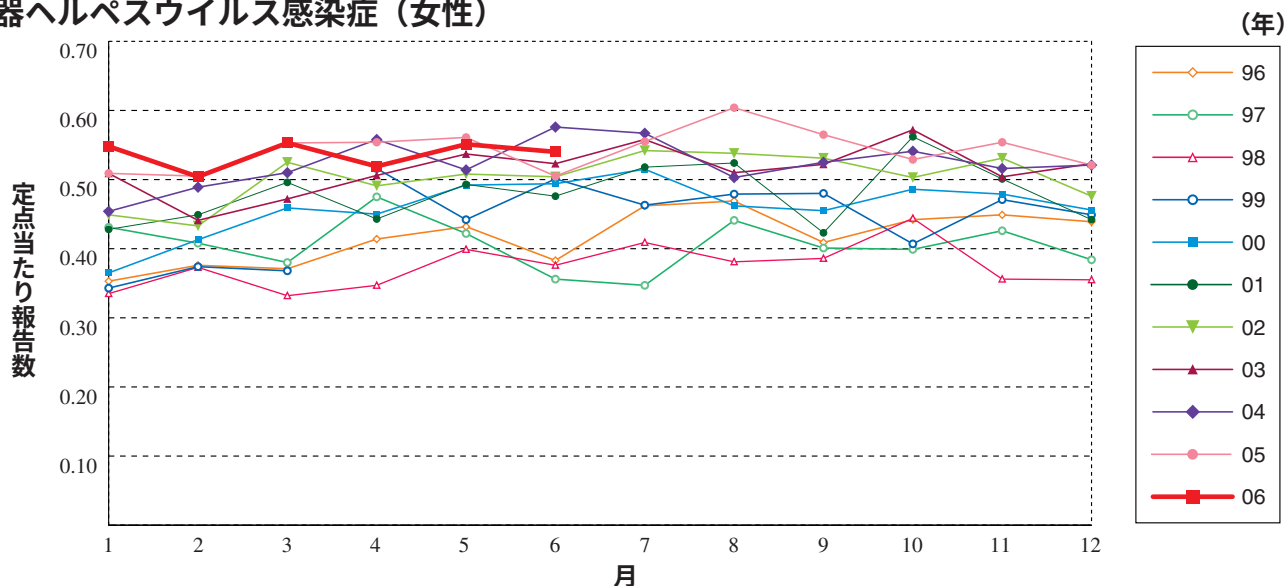
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



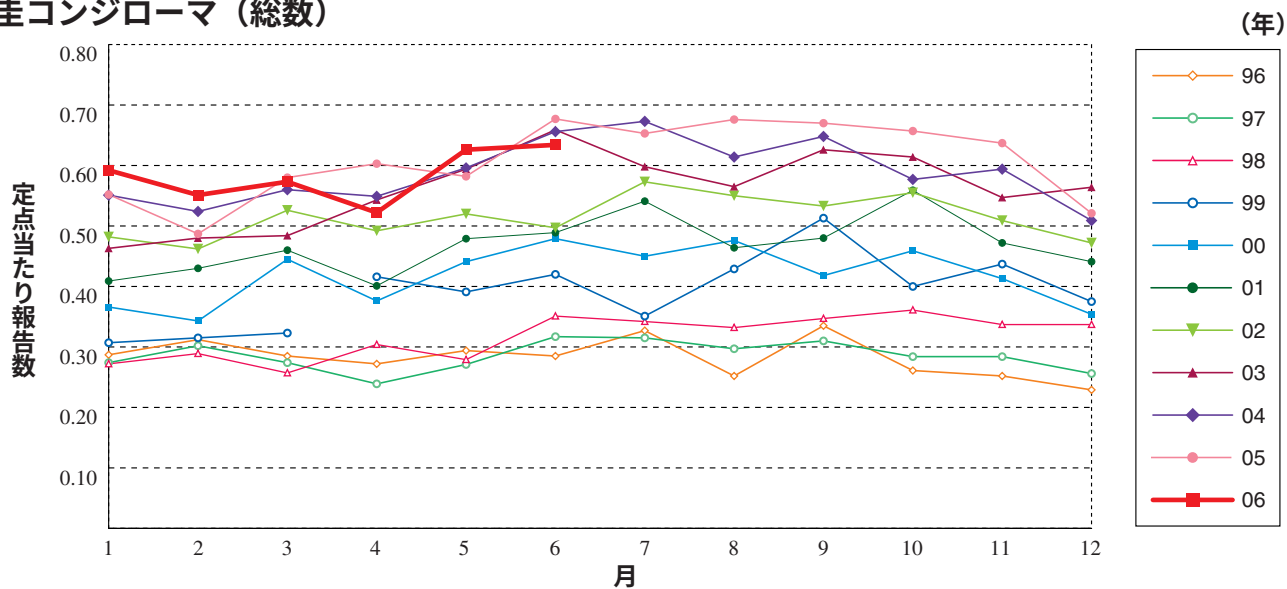
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



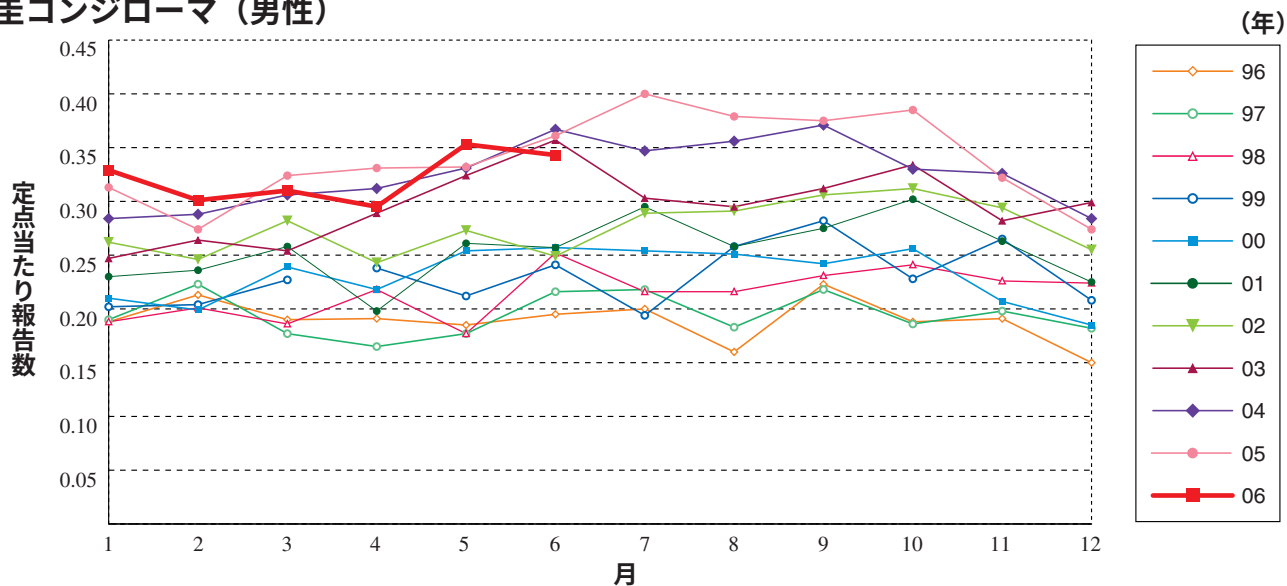
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



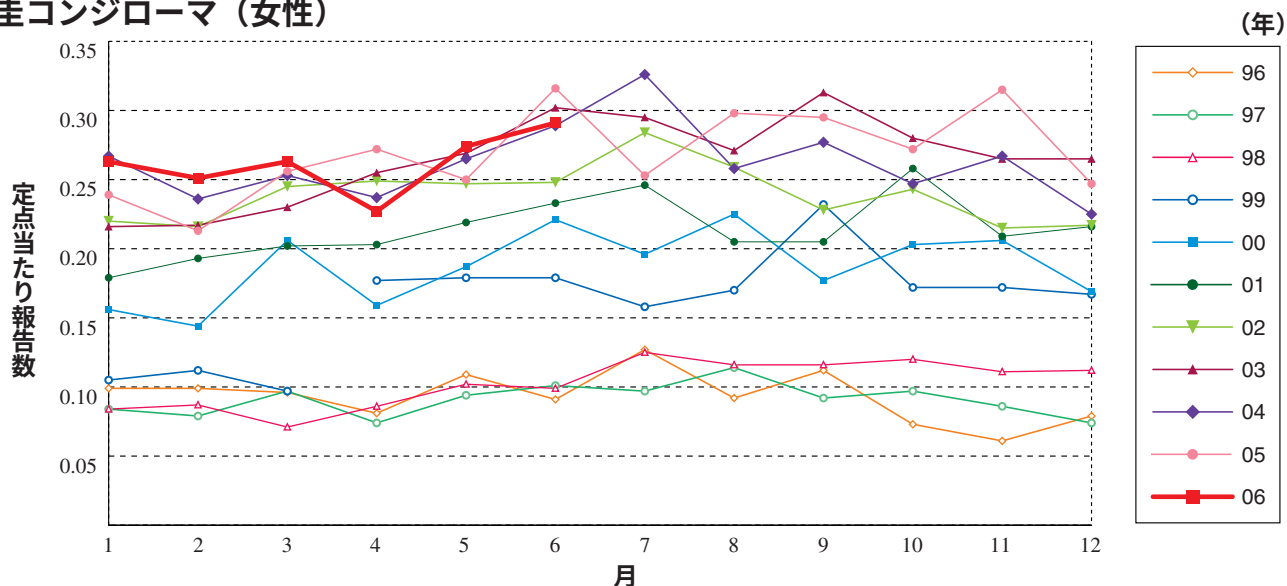
尖圭コンジローマ (総数)



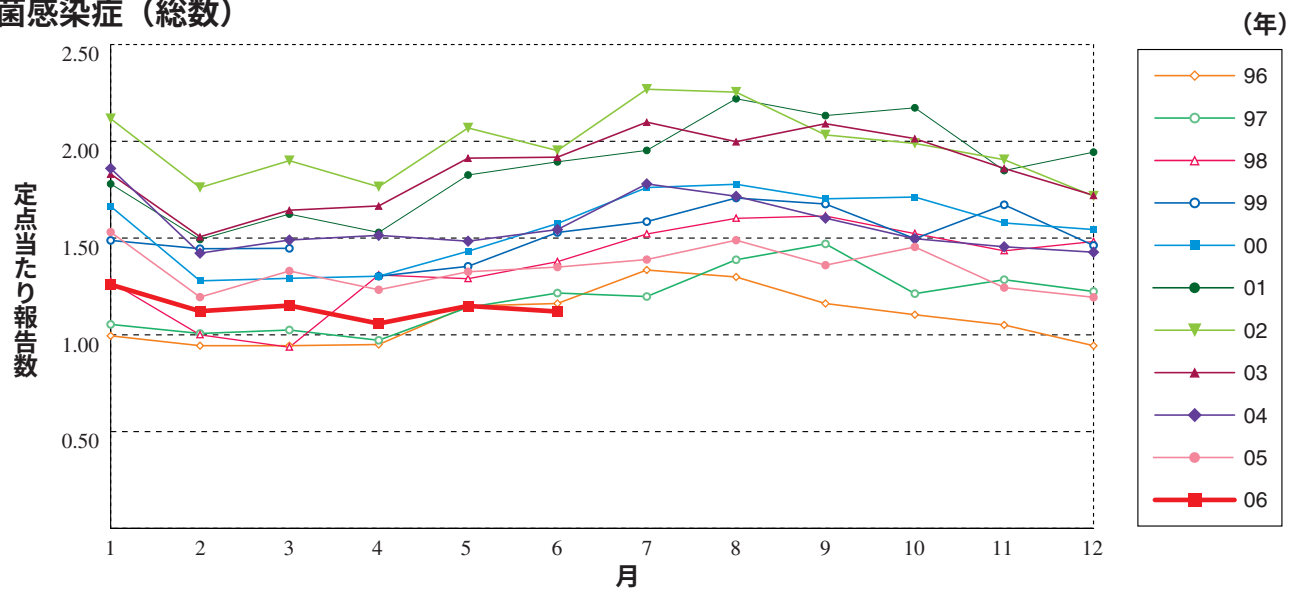
尖圭コンジローマ (男性)



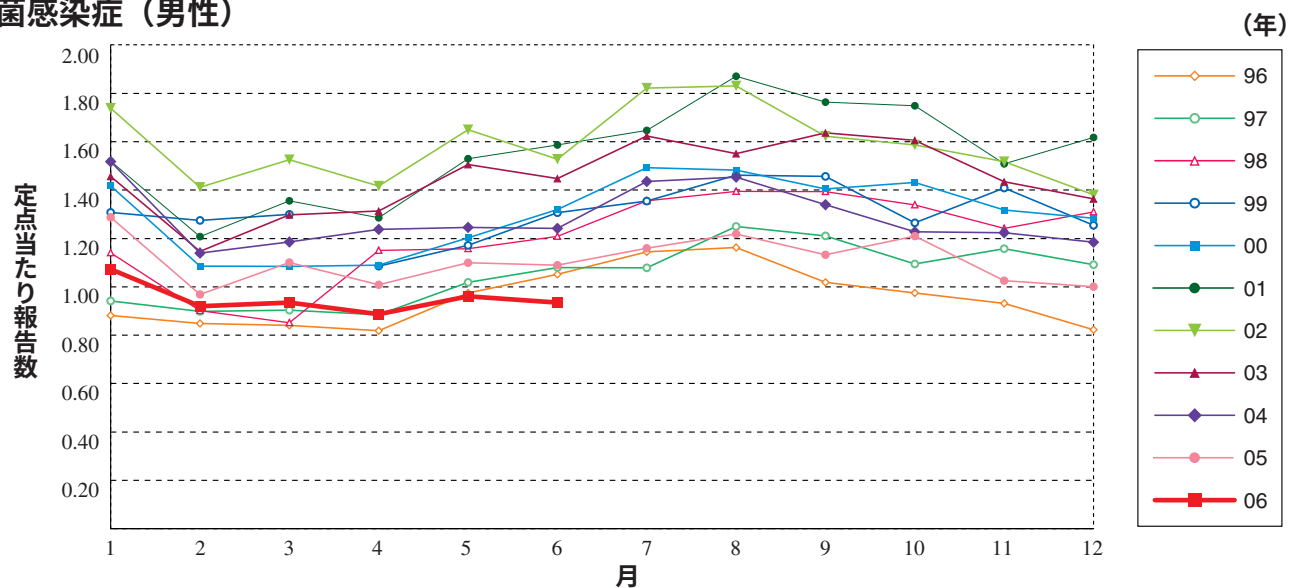
尖圭コンジローマ (女性)



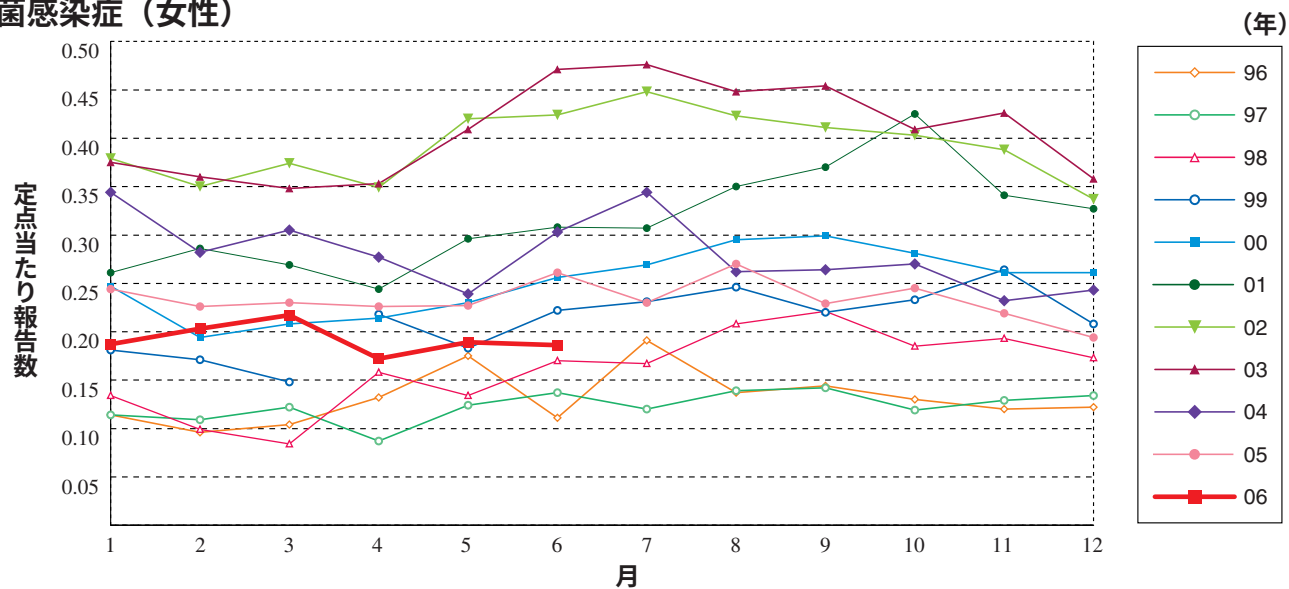
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

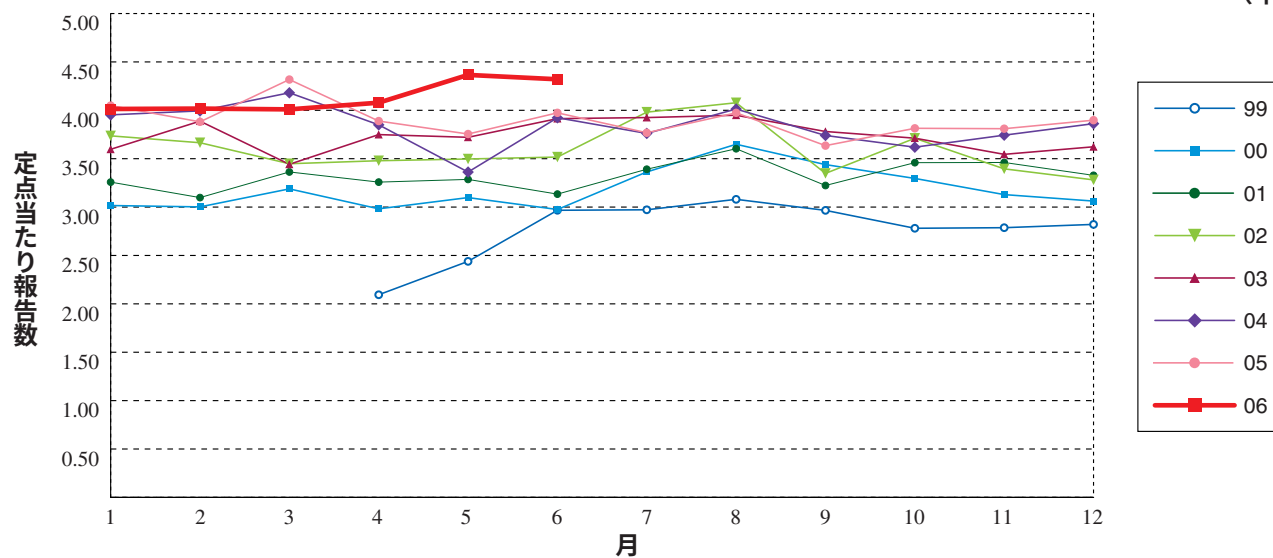


淋菌感染症 (女性)



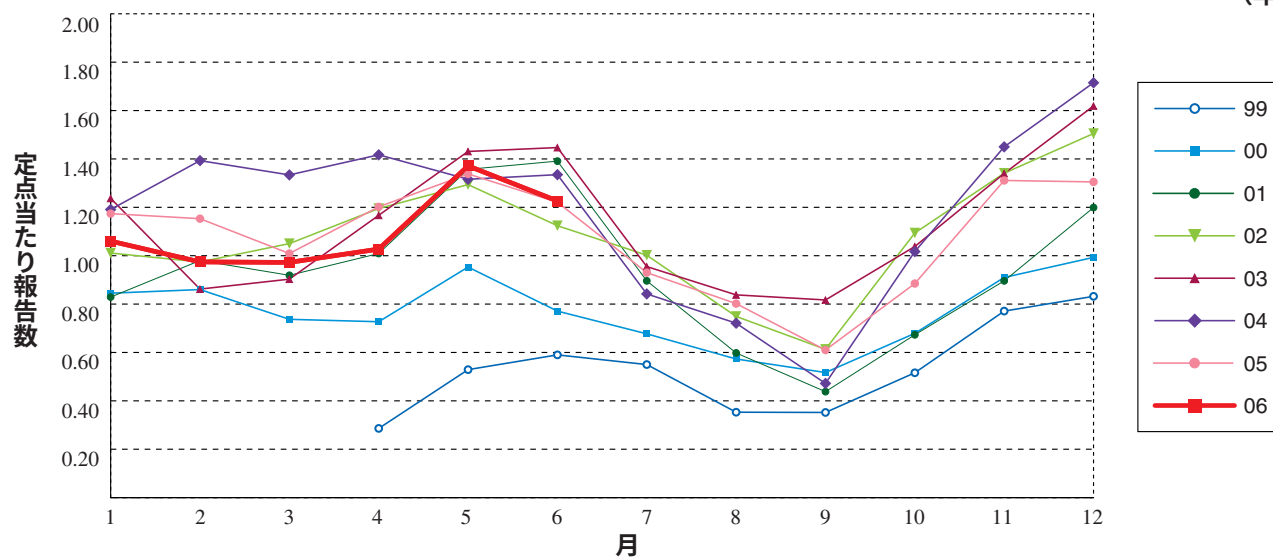
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



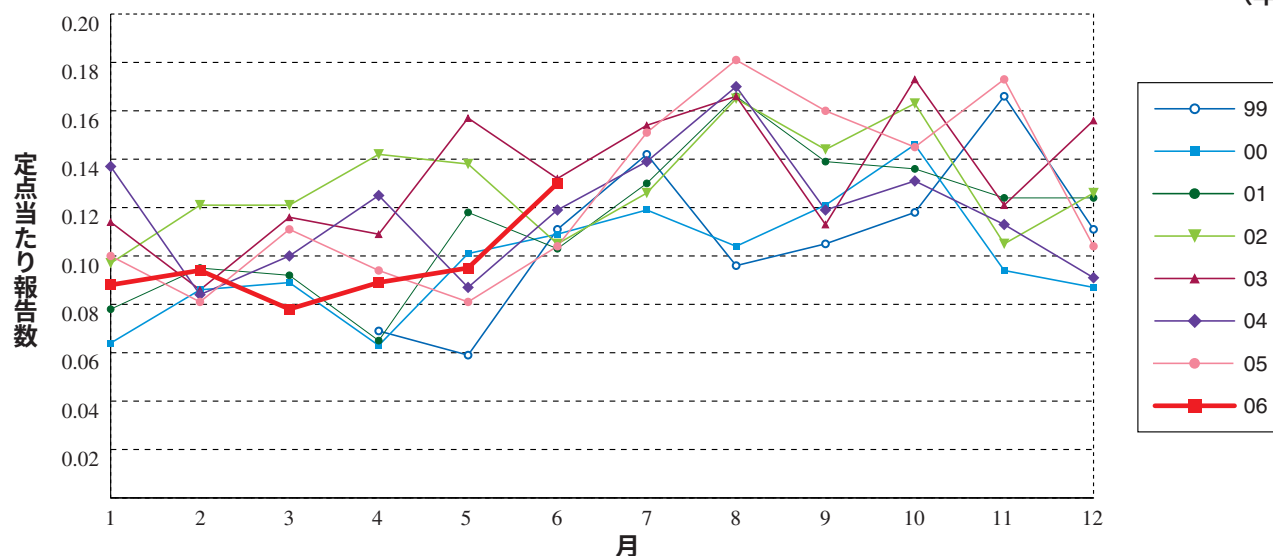
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





6月のデータ

(注) 7月12日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

2006年6月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2899	3.05	869	0.91	602	0.63	1064	1.12	1987	4.32	564	1.23	60	0.13
北海道	179	4.26	41	0.98	25	0.60	53	1.26	68	2.96	-	-	-	-
青森県	30	2.31	9	0.69	8	0.62	7	0.54	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	61	4.69	19	1.46	16	1.23	20	1.54	111	5.55	17	0.85	4	0.20
宮城県	74	3.89	19	1.00	27	1.42	29	1.53	39	3.25	4	0.33	1	0.08
秋田県	34	2.43	6	0.43	9	0.64	13	0.93	31	3.88	25	3.13	-	-
山形県	21	2.10	5	0.50	6	0.60	9	0.90	24	2.40	16	1.60	-	-
福島県	68	2.96	15	0.65	11	0.48	25	1.09	45	6.43	4	0.57	7	1.00
茨城県	111	5.29	24	1.14	23	1.10	13	0.62	35	5.00	1	0.14	1	0.14
栃木県	67	4.19	13	0.81	26	1.63	23	1.44	36	5.14	2	0.29	-	-
群馬県	107	4.12	16	0.62	17	0.65	27	1.04	23	2.88	13	1.63	-	-
埼玉県	169	3.13	42	0.78	21	0.39	33	0.61	25	2.78	9	1.00	1	0.11
千葉県	104	2.97	30	0.86	21	0.60	31	0.89	39	4.33	87	9.67	1	0.11
東京都	190	4.63	84	2.05	57	1.39	72	1.76	114	4.56	47	1.88	3	0.12
神奈川県	139	2.44	47	0.82	24	0.42	46	0.81	28	3.11	19	2.11	2	0.22
新潟県	16	1.00	14	0.88	10	0.63	16	1.00	100	7.69	16	1.23	1	0.08
富山県	12	1.20	3	0.30	6	0.60	5	0.50	31	6.20	51	10.20	1	0.20
石川県	19	1.90	7	0.70	1	0.10	16	1.60	22	4.40	-	-	-	-
福井県	11	2.20	-	-	1	0.20	5	1.00	32	5.33	29	4.83	2	0.33
山梨県	31	2.58	6	0.50	2	0.17	5	0.42	20	1.54	9	0.69	4	0.31
長野県	54	3.38	8	0.50	4	0.25	8	0.50	23	2.09	2	0.18	2	0.18
岐阜県	21	1.40	10	0.67	5	0.33	19	1.27	28	5.60	5	1.00	1	0.20
静岡県	90	3.00	14	0.47	7	0.23	20	0.67	65	6.50	13	1.30	2	0.20
愛知県	145	2.42	34	0.57	39	0.65	80	1.33	72	5.54	9	0.69	1	0.08
三重県	26	1.73	5	0.33	5	0.33	8	0.53	31	3.88	-	-	-	-
滋賀県	14	1.56	3	0.33	5	0.56	4	0.44	41	5.86	1	0.14	-	-
京都府	34	1.62	7	0.33	5	0.24	7	0.33	22	3.67	-	-	-	-
大阪府	296	4.70	164	2.60	83	1.32	128	2.03	70	5.00	12	0.86	3	0.21
兵庫県	100	2.17	34	0.74	36	0.78	49	1.07	40	3.08	9	0.69	2	0.15
奈良県	24	2.67	2	0.22	1	0.11	15	1.67	33	5.50	6	1.00	5	0.83
和歌山県	14	1.75	2	0.25	4	0.50	6	0.75	47	4.27	2	0.18	1	0.09
鳥取県	15	3.00	-	-	2	0.40	1	0.20	17	3.40	1	0.20	-	-
島根県	9	1.50	-	-	1	0.17	4	0.67	50	6.25	8	1.00	-	-
岡山県	65	2.83	10	0.43	14	0.61	36	1.57	12	2.40	1	0.20	2	0.40
広島県	47	2.04	15	0.65	13	0.57	16	0.70	114	5.43	28	1.33	4	0.19
山口県	34	3.40	11	1.10	2	0.20	13	1.30	80	8.89	20	2.22	1	0.11
徳島県	15	2.50	6	1.00	1	0.17	6	1.00	16	2.67	4	0.67	-	-
香川県	36	2.40	10	0.67	10	0.67	12	0.80	24	4.80	12	2.40	1	0.20
愛媛県	21	1.91	10	0.91	4	0.36	9	0.82	16	2.67	1	0.17	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	43	6.14	15	2.14	2	0.29
福岡県	157	4.24	45	1.22	21	0.57	58	1.57	44	2.93	16	1.07	-	-
佐賀県	22	3.14	9	1.29	1	0.14	9	1.29	29	4.83	-	-	-	-
長崎県	14	1.40	9	0.90	2	0.20	9	0.90	18	2.00	1	0.11	-	-
熊本県	63	4.85	17	1.31	8	0.62	28	2.15	68	4.53	7	0.47	3	0.20
大分県	7	0.70	7	0.70	1	0.10	7	0.70	56	5.09	21	1.91	2	0.18
宮崎県	40	3.64	4	0.36	3	0.27	24	2.18	30	4.29	2	0.29	-	-
鹿児島県	46	2.88	26	1.63	9	0.56	30	1.88	30	2.50	4	0.33	-	-
沖縄県	44	3.67	7	0.58	5	0.42	10	0.83	38	5.43	15	2.14	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2006年6月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1297	1.37	356	0.37	326	0.34	887	0.93	1219	2.65	314	0.68	43	0.09
北海道	47	1.12	9	0.21	12	0.29	32	0.76	44	1.91	-	-	-	-
青森県	13	1.00	5	0.38	3	0.23	7	0.54	6	1.00	-	-	-	-
岩手県	26	2.00	9	0.69	10	0.77	16	1.23	74	3.70	8	0.40	1	0.05
宮城県	32	1.68	5	0.26	17	0.89	22	1.16	27	2.25	1	0.08	1	0.08
秋田県	22	1.57	4	0.29	4	0.29	12	0.86	20	2.50	14	1.75	-	-
山形県	9	0.90	1	0.10	2	0.20	6	0.60	13	1.30	10	1.00	-	-
福島県	41	1.78	6	0.26	5	0.22	21	0.91	26	3.71	3	0.43	5	0.71
茨城県	49	2.33	7	0.33	13	0.62	9	0.43	24	3.43	1	0.14	1	0.14
栃木県	41	2.56	12	0.75	20	1.25	23	1.44	22	3.14	-	-	-	-
群馬県	50	1.92	4	0.15	6	0.23	23	0.88	14	1.75	8	1.00	-	-
埼玉県	54	1.00	15	0.28	13	0.24	30	0.56	18	2.00	6	0.67	1	0.11
千葉県	41	1.17	15	0.43	14	0.40	28	0.80	25	2.78	50	5.56	1	0.11
東京都	101	2.46	38	0.93	43	1.05	66	1.61	71	2.84	30	1.20	3	0.12
神奈川県	75	1.32	20	0.35	8	0.14	45	0.79	19	2.11	11	1.22	2	0.22
新潟県	5	0.31	3	0.19	8	0.50	15	0.94	54	4.15	8	0.62	-	-
富山県	3	0.30	2	0.20	1	0.10	4	0.40	18	3.60	29	5.80	1	0.20
石川県	11	1.10	3	0.30	1	0.10	16	1.60	13	2.60	-	-	-	-
福井県	9	1.80	-	-	1	0.20	5	1.00	17	2.83	16	2.67	2	0.33
山梨県	1	0.08	-	-	-	-	-	-	9	0.69	7	0.54	4	0.31
長野県	22	1.38	5	0.31	-	-	8	0.50	16	1.45	1	0.09	1	0.09
岐阜県	14	0.93	5	0.33	4	0.27	16	1.07	16	3.20	3	0.60	1	0.20
静岡県	36	1.20	3	0.10	2	0.07	20	0.67	37	3.70	6	0.60	1	0.10
愛知県	91	1.52	22	0.37	28	0.47	76	1.27	44	3.38	6	0.46	1	0.08
三重県	4	0.27	2	0.13	5	0.33	7	0.47	22	2.75	-	-	-	-
滋賀県	9	1.00	2	0.22	1	0.11	3	0.33	20	2.86	-	-	-	-
京都府	7	0.33	-	-	2	0.10	5	0.24	17	2.83	-	-	-	-
大阪府	119	1.89	75	1.19	34	0.54	90	1.43	43	3.07	8	0.57	1	0.07
兵庫県	47	1.02	18	0.39	28	0.61	45	0.98	27	2.08	5	0.38	1	0.08
奈良県	17	1.89	1	0.11	1	0.11	15	1.67	16	2.67	1	0.17	4	0.67
和歌山県	7	0.88	1	0.13	2	0.25	6	0.75	27	2.45	2	0.18	1	0.09
鳥取県	6	1.20	-	-	1	0.20	1	0.20	10	2.00	-	-	-	-
島根県	6	1.00	-	-	1	0.17	4	0.67	31	3.88	6	0.75	-	-
岡山県	19	0.83	1	0.04	2	0.09	31	1.35	7	1.40	1	0.20	2	0.40
広島県	21	0.91	7	0.30	2	0.09	15	0.65	67	3.19	15	0.71	2	0.10
山口県	15	1.50	2	0.20	1	0.10	9	0.90	53	5.89	9	1.00	-	-
徳島県	15	2.50	6	1.00	1	0.17	6	1.00	13	2.17	2	0.33	-	-
香川県	13	0.87	7	0.47	6	0.40	9	0.60	14	2.80	4	0.80	1	0.20
愛媛県	8	0.73	1	0.09	1	0.09	9	0.82	11	1.83	-	-	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	26	3.71	4	0.57	-	-
福岡県	88	2.38	21	0.57	14	0.38	50	1.35	24	1.60	8	0.53	-	-
佐賀県	15	2.14	1	0.14	-	-	7	1.00	19	3.17	-	-	-	-
長崎県	8	0.80	2	0.20	2	0.20	9	0.90	13	1.44	1	0.11	-	-
熊本県	16	1.23	2	0.15	-	-	16	1.23	43	2.87	5	0.33	3	0.20
大分県	6	0.60	1	0.10	-	-	4	0.40	30	2.73	15	1.36	2	0.18
宮崎県	21	1.91	1	0.09	-	-	22	2.00	17	2.43	2	0.29	-	-
鹿児島県	25	1.56	12	0.75	5	0.31	20	1.25	18	1.50	2	0.17	-	-
沖縄県	9	0.75	-	-	2	0.17	4	0.33	24	3.43	6	0.86	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2006年6月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1602	1.69	513	0.54	276	0.29	177	0.19	768	1.67	250	0.54	17	0.04
北海道	132	3.14	32	0.76	13	0.31	21	0.50	24	1.04	-	-	-	-
青森県	17	1.31	4	0.31	5	0.38	-	-	1	0.17	-	-	-	-
岩手県	35	2.69	10	0.77	6	0.46	4	0.31	37	1.85	9	0.45	3	0.15
宮城県	42	2.21	14	0.74	10	0.53	7	0.37	12	1.00	3	0.25	-	-
秋田県	12	0.86	2	0.14	5	0.36	1	0.07	11	1.38	11	1.38	-	-
山形県	12	1.20	4	0.40	4	0.40	3	0.30	11	1.10	6	0.60	-	-
福島県	27	1.17	9	0.39	6	0.26	4	0.17	19	2.71	1	0.14	2	0.29
茨城県	62	2.95	17	0.81	10	0.48	4	0.19	11	1.57	-	-	-	-
栃木県	26	1.63	1	0.06	6	0.38	-	-	14	2.00	2	0.29	-	-
群馬県	57	2.19	12	0.46	11	0.42	4	0.15	9	1.13	5	0.63	-	-
埼玉県	115	2.13	27	0.50	8	0.15	3	0.06	7	0.78	3	0.33	-	-
千葉県	63	1.80	15	0.43	7	0.20	3	0.09	14	1.56	37	4.11	-	-
東京都	89	2.17	46	1.12	14	0.34	6	0.15	43	1.72	17	0.68	-	-
神奈川県	64	1.12	27	0.47	16	0.28	1	0.02	9	1.00	8	0.89	-	-
新潟県	11	0.69	11	0.69	2	0.13	1	0.06	46	3.54	8	0.62	1	0.08
富山県	9	0.90	1	0.10	5	0.50	1	0.10	13	2.60	22	4.40	-	-
石川県	8	0.80	4	0.40	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-	-
福井県	2	0.40	-	-	-	-	-	-	15	2.50	13	2.17	-	-
山梨県	30	2.50	6	0.50	2	0.17	5	0.42	11	0.85	2	0.15	-	-
長野県	32	2.00	3	0.19	4	0.25	-	-	7	0.64	1	0.09	1	0.09
岐阜県	7	0.47	5	0.33	1	0.07	3	0.20	12	2.40	2	0.40	-	-
静岡県	54	1.80	11	0.37	5	0.17	-	-	28	2.80	7	0.70	1	0.10
愛知県	54	0.90	12	0.20	11	0.18	4	0.07	28	2.15	3	0.23	-	-
三重県	22	1.47	3	0.20	-	-	1	0.07	9	1.13	-	-	-	-
滋賀県	5	0.56	1	0.11	4	0.44	1	0.11	21	3.00	1	0.14	-	-
京都府	27	1.29	7	0.33	3	0.14	2	0.10	5	0.83	-	-	-	-
大阪府	177	2.81	89	1.41	49	0.78	38	0.60	27	1.93	4	0.29	2	0.14
兵庫県	53	1.15	16	0.35	8	0.17	4	0.09	13	1.00	4	0.31	1	0.08
奈良県	7	0.78	1	0.11	-	-	-	-	17	2.83	5	0.83	1	0.17
和歌山県	7	0.88	1	0.13	2	0.25	-	-	20	1.82	-	-	-	-
鳥取県	9	1.80	-	-	1	0.20	-	-	7	1.40	1	0.20	-	-
島根県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	19	2.38	2	0.25	-	-
岡山県	46	2.00	9	0.39	12	0.52	5	0.22	5	1.00	-	-	-	-
広島県	26	1.13	8	0.35	11	0.48	1	0.04	47	2.24	13	0.62	2	0.10
山口県	19	1.90	9	0.90	1	0.10	4	0.40	27	3.00	11	1.22	1	0.11
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50	2	0.33	-	-
香川県	23	1.53	3	0.20	4	0.27	3	0.20	10	2.00	8	1.60	-	-
愛媛県	13	1.18	9	0.82	3	0.27	-	-	5	0.83	1	0.17	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	17	2.43	11	1.57	2	0.29
福岡県	69	1.86	24	0.65	7	0.19	8	0.22	20	1.33	8	0.53	-	-
佐賀県	7	1.00	8	1.14	1	0.14	2	0.29	10	1.67	-	-	-	-
長崎県	6	0.60	7	0.70	-	-	-	-	5	0.56	-	-	-	-
熊本県	47	3.62	15	1.15	8	0.62	12	0.92	25	1.67	2	0.13	-	-
大分県	1	0.10	6	0.60	1	0.10	3	0.30	26	2.36	6	0.55	-	-
宮崎県	19	1.73	3	0.27	3	0.27	2	0.18	13	1.86	-	-	-	-
鹿児島県	21	1.31	14	0.88	4	0.25	10	0.63	12	1.00	2	0.17	-	-
沖縄県	35	2.92	7	0.58	3	0.25	6	0.50	14	2.00	9	1.29	-	-

注) 7月24日集計分

新登録患者数・都道府県別

2006年6月

	結 核	
	報告数	
総 数	2339	
北海道	70	
青森県	19	
岩手県	13	
宮城県	29	
秋田県	9	
山形県	11	
福島県	22	
茨城県	50	
栃木県	25	
群馬県	24	
埼玉県	104	
千葉県	86	
東京都	288	
神奈川県	171	
新潟県	28	
富山県	14	
石川県	16	
福井県	13	
山梨県	12	
長野県	20	
岐阜県	44	
静岡県	77	
愛知県	135	
三重県	43	
滋賀県	19	
京都府	56	
大阪府	283	
兵庫県	122	
奈良県	29	
和歌山県	25	
鳥取県	9	
島根県	17	
岡山県	35	
広島県	24	
山口県	18	
徳島県	18	
香川県	27	
愛媛県	23	
高知県	17	
福岡県	106	
佐賀県	13	
長崎県	39	
熊本県	23	
大分県	26	
宮崎県	15	
鹿児島県	40	
沖縄県	32	



28週のデータ

注1) 表中の報告数は7月20日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

注2) また報告システム変更の影響により、ここの「累積」においては漏れている報告例もありますが、近いうちにそれらも反映する予定です。

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年28週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性 大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノкокクス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	217	-	-	2	45	-	15	122	1142	2	42	-	-	2	225	-	13
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18	-	11	-	-	-	12	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	15	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	16	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	4	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	46	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	1	-	-	1	8	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	19	80	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	7	-	-	1	3	-	-	5	52	-	-	-	-	-	6	-	-
千葉県	1	38	-	-	-	4	-	1	4	39	1	1	-	-	1	3	-	-
東京都	-	30	-	-	1	14	-	9	2	72	-	2	-	-	-	23	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	6	-	1	2	45	-	7	-	-	-	11	-	-
新潟県	-	8	-	-	-	1	-	-	1	2	-	1	-	-	-	15	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	33	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	4	-	-	-	1	-	1	3	11	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	8	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	24	-	-	-	-	-	5	-	-
愛知県	1	16	-	-	-	4	-	2	4	66	-	3	-	-	-	16	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	1	2	-	-	-	-	-	-	2	15	-	-	-	-	-	2	-	-
京都府	-	1	-	-	-	1	-	-	3	14	-	-	-	-	-	8	-	-
大阪府	-	51	-	-	-	5	-	1	10	110	-	-	-	-	-	33	-	-
兵庫県	-	15	-	-	-	-	-	-	11	63	-	1	-	-	-	18	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	45	-	-	-	-	-	13	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	3	37	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29	1	1	-	-	-	5	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	3	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福岡県	1	8	-	-	-	1	-	-	7	55	-	1	-	-	-	7	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	1	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	40	-	4	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	黄 熱		オウム病		回 帰 熱		Q 熱		狂 犬 病		高病原性鳥 インフルエンザ		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	4	167	2	22	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	2	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	9	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	2	31	-	-	-	2	-	-	7	219	-	-	11	369
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6
秋田県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	12
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	21
東京都	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	2	96
神奈川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	2	32
新潟県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	20	-	-	1	28
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	9
大阪府	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	47
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	1	24
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	130	3	99	-	8	2	89	1	74	10	650	-	47	-	8	-	-
北海道	-	4	-	3	-	-	-	5	-	6	-	18	-	1	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	2	1	8	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	6	-	-	-	1	-	2	-	18	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	6	-	-	-	4	-	2	-	20	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	2	2	14	-	-	-	3	-	5	-	27	-	-	-	-	-	-
東京都	-	20	-	4	-	5	-	10	-	10	3	223	-	14	-	1	-	-
神奈川県	-	5	-	2	-	1	-	7	-	4	2	36	-	4	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	1	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	3	-	1	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	-	-	4	-	-	-	4	-	6	-	-	-	-
長野県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-	10	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	2	-	-	-	3	-	5	-	10	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	7	-	3	-	-	-	3	-	7	1	54	-	2	-	1	-	-
三重県	-	6	-	3	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	1	-	-	-	-
京都府	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	15	1	6	-	1	-	4	1	3	-	70	-	8	-	1	-	-
兵庫県	-	13	-	4	-	-	-	3	-	5	-	22	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	2	2	9	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	2	-	-	-	2	-	1	-	4	-	2	-	-	-	-
広島県	1	5	-	7	-	-	-	4	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
山口県	-	2	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	4	-	7	-	-	-	2	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	7	324	-	46	-	-	2	41	-	-
北海道	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	8	-	5	-	-	-	1	-	-
東京都	3	56	-	4	-	-	1	5	-	-
神奈川県	-	12	-	2	-	-	1	9	-	-
新潟県	-	4	-	1	-	-	-	2	-	-
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
静岡県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	25	-	1	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	1	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	19	-	2	-	-	-	4	-	-
兵庫県	1	13	-	1	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	1	18	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	22	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	23	-	2	-	-	-	1	-	-
大分県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	11	-	4	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1204	0.28	4427	1.48	4107	1.37	9585	3.20	4439	1.48	5776	1.93	2266	0.76	2410	0.81	29	0.01
北海道	80	0.35	218	1.52	329	2.30	259	1.81	332	2.32	101	0.71	54	0.38	71	0.50	-	-
青森県	158	2.43	33	0.79	34	0.81	68	1.62	73	1.74	9	0.21	49	1.17	19	0.45	-	-
岩手県	43	0.68	8	0.21	22	0.56	92	2.36	44	1.13	6	0.15	7	0.18	14	0.36	-	-
宮城県	7	0.07	44	0.72	86	1.41	223	3.66	112	1.84	86	1.41	93	1.52	46	0.75	-	-
秋田県	23	0.42	29	0.83	82	2.34	85	2.43	40	1.14	6	0.17	42	1.20	19	0.54	2	0.06
山形県	-	-	43	1.43	58	1.93	49	1.63	60	2.00	2	0.07	41	1.37	24	0.80	-	-
福島県	3	0.04	42	0.88	95	1.98	194	4.04	110	2.29	14	0.29	28	0.58	53	1.10	-	-
茨城県	3	0.05	126	1.70	129	1.74	173	2.34	113	1.53	25	0.34	62	0.84	36	0.49	-	-
栃木県	3	0.04	51	1.11	21	0.46	79	1.72	54	1.17	193	4.20	47	1.02	54	1.17	2	0.04
群馬県	10	0.10	87	1.40	80	1.29	236	3.81	97	1.56	38	0.61	19	0.31	51	0.82	1	0.02
埼玉県	-	-	334	2.13	243	1.55	573	3.65	306	1.95	351	2.24	222	1.41	144	0.92	-	-
千葉県	5	0.03	172	1.48	144	1.24	287	2.47	168	1.45	78	0.67	127	1.09	99	0.85	3	0.03
東京都	-	-	188	1.34	154	1.10	414	2.96	128	0.91	104	0.74	83	0.59	119	0.85	2	0.01
神奈川県	3	0.01	449	2.25	291	1.46	562	2.81	266	1.33	134	0.67	149	0.75	185	0.93	2	0.01
新潟県	13	0.16	96	1.57	115	1.89	118	1.93	109	1.79	145	2.38	43	0.70	46	0.75	-	-
富山県	-	-	55	1.90	56	1.93	135	4.66	41	1.41	17	0.59	12	0.41	16	0.55	-	-
石川県	-	-	15	0.52	34	1.17	98	3.38	32	1.10	106	3.66	8	0.28	21	0.72	-	-
福井県	-	-	17	0.77	31	1.41	164	7.45	32	1.45	372	16.91	9	0.41	11	0.50	1	0.05
山梨県	-	-	13	0.54	13	0.54	35	1.46	19	0.79	8	0.33	10	0.42	8	0.33	-	-
長野県	-	-	131	2.43	94	1.74	140	2.59	131	2.43	123	2.28	41	0.76	34	0.63	-	-
岐阜県	-	-	87	1.64	36	0.68	55	1.04	70	1.32	397	7.49	55	1.04	27	0.51	-	-
静岡県	1	0.01	147	1.71	120	1.40	331	3.85	146	1.70	484	5.63	99	1.15	88	1.02	-	-
愛知県	8	0.04	283	1.56	258	1.43	428	2.36	357	1.97	1140	6.30	215	1.19	168	0.93	3	0.02
三重県	10	0.14	101	2.24	101	2.24	247	5.49	76	1.69	220	4.89	42	0.93	49	1.09	-	-
滋賀県	1	0.02	48	1.50	22	0.69	31	0.97	47	1.47	166	5.19	34	1.06	19	0.59	1	0.03
京都府	4	0.04	109	1.51	86	1.19	254	3.53	74	1.03	65	0.90	79	1.10	42	0.58	2	0.03
大阪府	6	0.03	309	1.69	311	1.70	675	3.69	248	1.36	169	0.92	81	0.44	173	0.95	1	0.01
兵庫県	12	0.06	120	0.94	146	1.14	450	3.52	132	1.03	302	2.36	88	0.69	83	0.65	4	0.03
奈良県	1	0.04	91	2.60	49	1.40	82	2.34	49	1.40	78	2.23	5	0.14	30	0.86	-	-
和歌山県	6	0.12	37	1.19	20	0.65	75	2.42	51	1.65	87	2.81	15	0.48	29	0.94	-	-
鳥取県	-	-	19	1.00	34	1.79	109	5.74	16	0.84	5	0.26	29	1.53	17	0.89	-	-
島根県	-	-	24	1.09	28	1.27	103	4.68	30	1.36	9	0.41	15	0.68	15	0.68	-	-
岡山県	1	0.01	31	0.57	28	0.52	133	2.46	50	0.93	92	1.70	9	0.17	37	0.69	-	-
広島県	14	0.12	106	1.47	92	1.28	312	4.33	68	0.94	39	0.54	61	0.85	49	0.68	1	0.01
山口県	21	0.30	38	0.78	87	1.78	261	5.33	54	1.10	23	0.47	32	0.65	45	0.92	-	-
徳島県	3	0.09	24	1.14	27	1.29	49	2.33	41	1.95	99	4.71	1	0.05	13	0.62	-	-
香川県	2	0.04	39	1.22	12	0.38	84	2.63	22	0.69	108	3.38	12	0.38	20	0.63	2	0.06
愛媛県	21	0.34	72	1.95	42	1.14	149	4.03	66	1.78	55	1.49	34	0.92	37	1.00	-	-
高知県	-	-	41	1.37	17	0.57	41	1.37	25	0.83	35	1.17	6	0.20	27	0.90	-	-
福岡県	28	0.14	183	1.53	172	1.43	574	4.78	169	1.41	87	0.73	51	0.43	101	0.84	-	-
佐賀県	2	0.05	58	2.52	22	0.96	34	1.48	36	1.57	9	0.39	7	0.30	32	1.39	-	-
長崎県	63	0.90	38	0.86	24	0.55	133	3.02	34	0.77	16	0.36	51	1.16	37	0.84	-	-
熊本県	51	0.64	35	0.73	59	1.23	294	6.13	47	0.98	97	2.02	25	0.52	51	1.06	-	-
大分県	9	0.16	35	0.97	70	1.94	266	7.39	96	2.67	33	0.92	10	0.28	44	1.22	-	-
宮崎県	27	0.46	85	2.36	68	1.89	206	5.72	66	1.83	10	0.28	43	1.19	60	1.67	-	-
鹿児島県	15	0.16	97	1.73	46	0.82	188	3.36	72	1.29	25	0.45	12	0.21	31	0.55	1	0.02
沖縄県	547	9.43	19	0.56	19	0.56	37	1.09	30	0.88	8	0.24	9	0.26	16	0.47	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	16	0.01	12544	4.19	21	0.01	5334	1.78	21	0.03	933	1.50	6	0.01	49	0.11	178	0.40
北海道	1	0.01	553	3.87	-	-	426	2.98	-	-	13	0.45	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	236	5.62	2	0.05	89	2.12	-	-	12	1.09	-	-	-	-	8	1.33
岩手県	-	-	181	4.64	-	-	73	1.87	-	-	16	1.33	-	-	-	-	5	0.25
宮城県	-	-	662	10.85	-	-	138	2.26	1	0.08	4	0.33	-	-	-	-	5	0.42
秋田県	-	-	42	1.20	-	-	13	0.37	-	-	2	0.29	-	-	-	-	6	0.75
山形県	-	-	117	3.90	-	-	40	1.33	1	0.13	4	0.50	-	-	3	0.30	3	0.30
福島県	-	-	240	5.00	-	-	95	1.98	1	0.08	24	2.00	-	-	-	-	1	0.20
茨城県	2	0.03	316	4.27	-	-	143	1.93	6	0.43	57	4.07	-	-	-	-	5	0.71
栃木県	1	0.02	145	3.15	-	-	78	1.70	2	0.17	16	1.33	-	-	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	122	1.97	-	-	168	2.71	-	-	38	2.71	1	0.13	-	-	17	2.13
埼玉県	1	0.01	548	3.49	-	-	269	1.71	2	0.05	79	1.98	-	-	-	-	10	1.11
千葉県	2	0.02	559	4.82	6	0.05	158	1.36	1	0.04	54	2.08	-	-	1	0.13	1	0.13
東京都	1	0.01	458	3.27	2	0.01	123	0.88	-	-	18	1.29	-	-	3	0.12	8	0.32
神奈川県	-	-	914	4.57	1	0.01	314	1.57	2	0.05	147	3.59	-	-	-	-	4	0.50
新潟県	-	-	268	4.39	-	-	264	4.33	-	-	11	1.10	-	-	1	0.09	2	0.18
富山県	1	0.03	105	3.62	-	-	56	1.93	-	-	4	0.57	-	-	-	-	5	1.00
石川県	-	-	73	2.52	-	-	21	0.72	-	-	5	0.71	-	-	2	0.40	7	1.40
福井県	-	-	38	1.73	-	-	6	0.27	-	-	8	2.67	1	0.17	2	0.33	1	0.17
山梨県	-	-	35	1.46	-	-	56	2.33	-	-	4	0.50	-	-	1	0.10	1	0.10
長野県	-	-	272	5.04	-	-	185	3.43	-	-	38	3.45	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	-	-	107	2.02	-	-	31	0.58	-	-	10	1.00	-	-	3	0.60	1	0.20
静岡県	-	-	431	5.01	-	-	251	2.92	-	-	17	0.85	1	0.10	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.01	735	4.06	1	0.01	197	1.09	1	0.03	26	0.74	-	-	-	-	11	0.92
三重県	-	-	133	2.96	-	-	100	2.22	-	-	4	0.33	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	-	-	121	3.78	-	-	33	1.03	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	177	2.46	-	-	81	1.13	-	-	17	1.00	-	-	2	0.33	1	0.17
大阪府	-	-	805	4.40	3	0.02	343	1.87	-	-	40	1.03	-	-	1	0.08	14	1.17
兵庫県	2	0.02	784	6.13	1	0.01	235	1.84	1	0.03	40	1.14	-	-	2	0.18	-	-
奈良県	-	-	129	3.69	1	0.03	22	0.63	-	-	12	1.33	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	2	0.06	344	11.10	-	-	35	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	61	3.21	1	0.05	54	2.84	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	113	5.14	-	-	55	2.50	-	-	1	0.33	-	-	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	166	3.07	-	-	93	1.72	-	-	6	0.50	-	-	-	-	4	0.80
広島県	1	0.01	286	3.97	3	0.04	67	0.93	-	-	27	1.42	-	-	11	0.52	9	0.43
山口県	-	-	256	5.22	-	-	98	2.00	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	1	0.05	89	4.24	-	-	74	3.52	-	-	3	0.75	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	100	3.13	-	-	65	2.03	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	254	6.86	-	-	54	1.46	1	0.13	45	5.63	1	0.17	-	-	10	1.67
高知県	-	-	123	4.10	-	-	19	0.63	-	-	2	0.67	1	0.14	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	606	5.05	-	-	156	1.30	1	0.04	26	1.00	1	0.07	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	124	5.39	-	-	23	1.00	-	-	4	1.00	-	-	1	0.17	2	0.33
長崎県	-	-	77	1.75	-	-	38	0.86	-	-	12	1.50	-	-	1	0.09	-	-
熊本県	-	-	185	3.85	-	-	56	1.17	-	-	27	3.00	-	-	6	0.40	4	0.27
大分県	-	-	176	4.89	-	-	69	1.92	-	-	2	0.40	-	-	5	0.45	1	0.09
宮崎県	-	-	168	4.67	-	-	95	2.64	1	0.25	12	3.00	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	101	1.80	-	-	237	4.23	-	-	12	1.71	-	-	-	-	3	0.25
沖縄県	-	-	9	0.26	-	-	38	1.12	-	-	21	2.10	-	-	1	0.14	8	1.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年28週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	6	0.01	-	-	51
北海道	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	1	0.09	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	5

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2006年28週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年28週

	インフルエンザ(H5N1)	
	鳥類	
	報告数	累積
総 数	-	-
北海道	-	-
青森県	-	-
岩手県	-	-
宮城県	-	-
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	-	-
栃木県	-	-
群馬県	-	-
埼玉県	-	-
千葉県	-	-
東京都	-	-
神奈川県	-	-
新潟県	-	-
富山県	-	-
石川県	-	-
福井県	-	-
山梨県	-	-
長野県	-	-
岐阜県	-	-
静岡県	-	-
愛知県	-	-
三重県	-	-
滋賀県	-	-
京都府	-	-
大阪府	-	-
兵庫県	-	-
奈良県	-	-
和歌山県	-	-
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	-	-
広島県	-	-
山口県	-	-
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	-	-
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	-	-
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-

感染症週報 第8巻 第28号 2006年7月28日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。